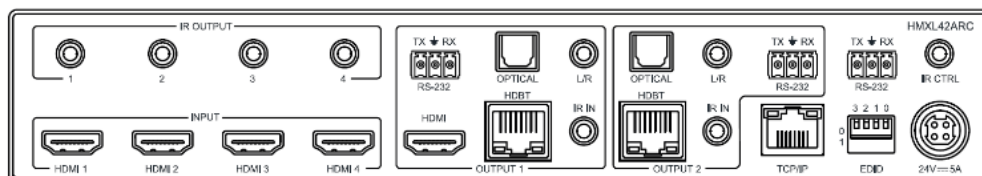
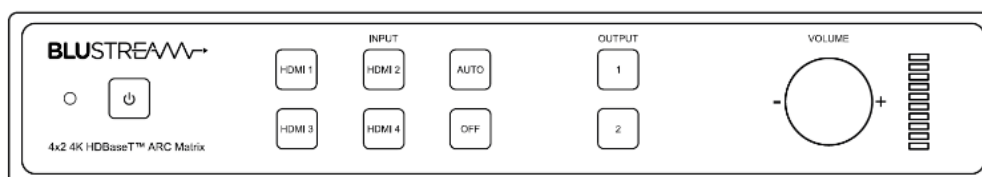


Blustream

4x2 HDBaseT CSC マトリックス

エクステンダーセット

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver1.0	2023/3/7	初版
Ver.1.1	2023/06/30	連絡先情報の更新

安全上のご注意

この度は、HMLX42ARC-KIT をご購入いただき、誠にありがとうございます。




この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

 <p>警告</p>	<p>誤った取扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。</p>	 <p>操作に関するヒントまたは追加情報です。</p>
 <p>注意</p>	<p>誤った取扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。</p>	

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止して、PoE電源供給LANケーブル(またはACアダプター)およびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- LAN ケーブル、または AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためLANケーブルやACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

**注意**

- LANケーブルやACアダプターの取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- ACアダプター及び電源ケーブルは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- ACアダプター及びDCプラグは、プラグの部分を持って取付け、取外ししてください。コード部分を引っ張らないでください。
- 電源を入れたまま、LANケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- LANケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。
- LAN ケーブルをご利用の際はケーブルの裂け目にご注意ください。ノイズの原因となり、通信を大きく阻害します。
- LAN ケーブルは必ず単線仕様のケーブルをご利用ください。撚り線仕様のケーブルでは動作を保証致しかねます。

**注意**

- LAN ケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態をご利用下さい。
- HDBaseT 端子に接続する LAN ケーブルの長さは 70m(4K 出力時は 40m)以下の、Cat5e ケーブルと Cat6 ケーブル(推奨)となります。
- HDBaseT 端子は HDBaseT 非対応の機器に接続しないでください。マトリックススイッチャー及び接続機器故障の原因になります。この原因による故障はサポート対象外となります。
- 接続する HDMI ケーブルは長さ 5m 以下のものをご利用ください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- ラックなどに設置するとき、放熱を妨げないよう、本製品と他の機器の間に隙間を空けてください。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	7
製品特長	8
各部名称	8
マトリックススイッチャー(送信器)	8
HDBaseT 受信器	10
HDBaseT 入/出力端子インジケーターステータス説明	11
マトリックススイッチャーの TCP/IP 用 LAN(RJ-45)端子インジケーターステータス説明	12
接続 LAN ケーブルの規格について	12
IR ケーブルの接続	13
接続図	14
ご使用の前に	15
マトリックススイッチャーのブラケット及び本体用足の取付方法	15
受信器用マウントブラケットの取付方法	16
マトリックススイッチャーと HDBaseT 受信器と接続する	17
基本の操作	18
電源を入れる/切る	18
マトリックススイッチャー本体前面ボタンで操作する	19
マトリックススイッチャーの電源入り・切り	19
出力映像の切り替え	19
音量調整	19
EDID DIP 設定方法	20
IR リモコンで操作する	21
ウェブ GUI で操作する	22
前準備	22
ウェブ GUI へのログイン	24
出力映像の切り替え	25
プリセットの保存・呼び出し・名前変更	26
入力ソース機器に対する EDID エミュレータの設定	28
HDBaseT、HDMI 出力設定	29
マトリックススイッチャーのオーディオ出力ソースの選択	30
オーディオソース名称の変更	31
IR 信号ルーティングの設定	31
HDMI-CEC コマンド送信	32
シリアル(RS-232)通信コマンドを送信	34
ネットワークの設定	36
ファームウェアバージョン情報の確認及びアップグレード	37
ウェブ GUI ログインアカウントの設定	37
設定のリセット	39
その他設定	39
シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンドで制御する	40
シリアル(RS-232)通信設定値	40
Telnet 通信ポート	40
ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)	40

シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンド	41
システムインフォメーションコマンド	41
システムコントロールコマンド	44
入出力コントロールコマンド	44
音声コントロールコマンド	46
CEC コマンド設定コマンド	47
シリアル(RS-232)通信設定コマンド	47
ネットワーク設定コマンド	49
FAQ よくある質問	50
主な仕様	51
外形寸法	52
サポート専用問い合わせ先	53

製品概要

HMXL42ARC-KIT は、HDMI 入力 4 系統と HDBaseT 出力 2 系統(内 1 系統分配出力用 HDMI 端子搭載)を搭載したマトリックススイッチャーと HDBaseT 受信器 2 台を含むマトリックスエクステンダーセットです。カラースペース変換(CSC)機能を搭載し最大 4K@60Hz 4:4:4 (18Gbps)HDMI 入力信号に対応。マトリックス送信器と HDBaseT 受信器を Cat5e 以上 LAN ケーブルで接続することで、切替出力した 1080p@60Hz の HDMI 信号を、最大 70m (4K@60Hz 信号を最大 40m)を伝送します。

各 HDMI 入力には EDID エミュレート機能を搭載し、22 種類のプリセット EDID から選択可能な他、各 HDBaseT 受信器に接続されたディスプレイの EDID 情報を元に各ディスプレイが対応した最大入力解像度に合わせて 4K@60Hz 4:2:0 または、1080p@60Hz 信号に変換出力する自動ダウンスケーリング機能を搭載。異なる解像度のディスプレイを各 HDBaseT 受信器に接続した場合でもスムーズな映像表示が可能となります。

オーディオは、Dolby TrueHD、Dolby Atmos、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master のオーディオフォーマットに対応。マトリックススイッチャー本体と HDBaseT 受信器には、受信した HDMI 信号に重畳されたオーディオ信号をディエンベデッド出力可能な光デジタル(Toslink)と 3.5mm ステレオミニジャック端子を搭載する他、IR と RS-232 信号の双方向伝送にも対応しています。

HDBaseT 受信器には、ARC(オーディオリターンチャンネル)機能を搭載。HDMI ARC 機能対応テレビや AV レシーバーの 2ch 音声信号をマトリックススイッチャーに転送することができ、よりシンプルでスマートな接続が可能となります。

出力ソースの選択や設定は本体前面パネルに搭載したタッチセンサーボタンや付属 IR リモコン、本体ウェブ GUI 経由で制御が可能な他、IR 信号、RS-232、TCP/IP 経由でサードパーティーコントロールシステムとの統合が可能です。また、新しく接続された映像信号をスイッチャー本体が検知して自動的に切り替えるオートスイッチ機能で、操作がスムーズに行えます。

金属製筐体による優れた排熱性を備え、付属のブラケットで 19 インチ EIA ラックマウント(1U 相当)に取り付けが可能です。本製品は、講演会場、会議室、教育現場、展示会場、ホテル宴会場、結婚式場などで離れた場所に設置された映像表示機器に対して、映像切替演出や簡易的な音声制御を 1 台で可能なマトリックススイッチャー兼延長器です。

カラースペース変換(CSC)技術を用いた HDBaseT 信号伝送について

HDBaseT 2.0 の最大伝送帯域は 10.2Gbps のため、4K 60Hz 4:4:4 のネイティブ 4K UHD 解像度の映像伝送は技術的に不可能です。ソースとディスプレイの設置場所距離が必然的に遠くなるマルチルーム AV 環境でも 18Gbps 帯域のビデオ信号を伝送する要望が数多く存在します。

Blustream 社では、4K HDR 信号を技術的制限のある HDBaseT 規格にて伝送できるようカラースペース変換(CSC)技術を HDBaseT 製品に実装しました。カラースペース変換では、4:4:4 または、4:2:2 をクロマサブサンプリングすることで HDMI 信号のデータレートを低減させ、ネイティブ解像度とフレームレートを一定に保ちます。

※ Blustream 社の CSC 対応製品では、ダイナミック HDR(dHDR)のデータ形式が異なる HDR10+や Dolby Vision には非対応となります。これらのコーデックは映像伝送中に動的メタデータをパケット伝送するため、CSC 技術上、これらの動的変動に合わせて映像伝送を行うことができません。

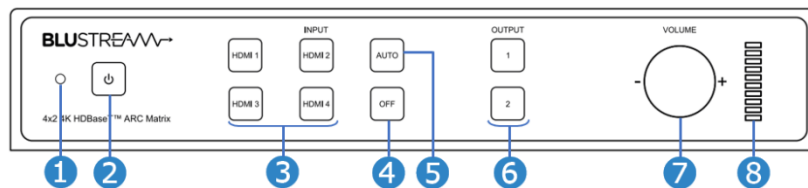
製品特長

- 最大解像度 4K60Hz 4:4:4 まで対応
- カラースペース変換(CSC)機能
- 最大 70m までの伝送距離=1080p@60Hz Cat6/5e ケーブル(4K は 40m まで)
- EDID エミュレート機能及び自動ダウンスケーリング機能搭載
- 多様な HDMI オーディオに対応(Dolby TrueHD、Dolby Atmos、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master)
- 送信器・受信器双方オーディオディエンベデッド機能搭載
- IR 信号、RS-232 信号双方向伝送
- PoC(Power over Cable、送信器→受信器方向のみ)
- HDCP2.2、HDR 対応
- 多様な制御方法 | 本体ボタン、IR リモコン、ウェブ GUI、RS-232
- EIA ラックマウント対応

各部名称

マトリックススイッチャー(送信器)

前面※1

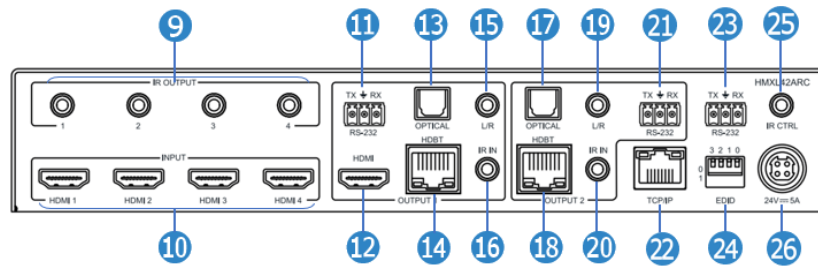


番号	表示・アイコン	説明
①	-	IR 信号受光部です
②		電源タッチボタンです。約 4 秒間長押しでマトリックススイッチャーを電源オン/オフします。※2 電源オン:青色に点灯 電源オフ:オレンジ色に点灯
③	INPUT HDMI1~4	入力ソースの選択ボタンです。 選択されているソース:オレンジ色に点灯(他は青色に点灯) 先に出力チャンネルボタン⑥で出力を選択する必要があります。
④	OFF	出力映像・音声をオフ/オンします。先に出力チャンネルボタン⑥で出力を選択する必要があります。
⑤	AUTO	オート切り替えをオン/オフします。先に出力チャンネルボタン⑥で出力を選択し、AUTO ボタンを約 4 秒間長押しでオート切り替えをオン/オフします。
⑥	OUTPUT 1~2	出力チャンネルの選択ボタンです。 選択されているディスプレイ: オレンジ色に点灯
⑦	VOLUME	送信器背面アナログ出力⑮または⑰音量調整つまみです。 時計回り:音量アップ; 反時計回り:音量ダウン 先に出力チャンネルボタン⑥で出力を選択する必要があります。
⑧	レベルメータ	オーディオ音量を示すレベルメータ(目安)です。

※1 マトリックススイッチャー前面タッチボタンのランプは操作完了してから約 30 秒後自動的に消灯します。(電源ランプ、レベルメータを除く)

※2 PoC 電源供給している場合は、HDBaseT 受信器の電源も一緒にオン/オフします。

背面



番号	枠	端子・スイッチ	説明
⑨	IR OUTPUT	1~4	IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックです。付属の 5V IR エミッタ(IRE)を接続します。HDBaseT 受信器 1/2 から伝送されてきた IR 信号を出力します。
⑩	INPUT	HDMI 1~4	HDMI 入力端子です。HDMI ソース機器と接続します。
⑪	OUTPUT 1	RS-232	シリアル(RS-232)通信用端子です。HDBaseT 受信器 1 とシリアル(RS-232)通信します。
⑫		HDMI	HDMI 出力端子です。ディスプレイ機器に接続します。
⑬		OPTICAL	光デジタル Toslink(S/PDIF) 出力端子です。HDMI 入力 1~4 の音声、HDBaseT 受信器 1 の出力音声または HDBaseT 受信器経由 ARC 音声から選べます。 ^{※3}
⑭		HDBT	HDBaseT 出力端子です。LAN ケーブルで HDBaseT 受信器 1 と接続します。
⑮		L/R	アナログ音声 3.5mm ステレオミニジャック出力端子です。HDMI 入力 1~4 の音声、HDBaseT 受信器 1 の出力音声または HDBaseT 受信器経由 ARC 音声から選べます。 ^{※3※4}
⑯	OUTPUT 2	IR IN	IR 信号受信 3.5mm ステレオミニジャックです。付属の 5V IR レシーバ(IRR)を接続します。IR 信号は HDBaseT 受信器 1 に伝送されます。
⑰		OPTICAL	光デジタル Toslink(S/PDIF) 出力端子です。HDMI 入力 1~4 の音声、HDBaseT 受信器の出力音声または HDBaseT 受信器経由 ARC 音声から選べます。 ^{※3※4}
⑱		HDBT	HDBaseT 出力端子です。LAN ケーブルで HDBaseT 受信器 2 と接続します。
⑲		L/R	アナログ音声 3.5mm ステレオミニジャック出力端子です。HDMI 入力 1~4 の音声、HDBaseT 受信器 2 の出力音声または HDBaseT 受信器経由 ARC 音声から選べます。 ^{※3※4}
⑳		IR IN	IR 信号受信 3.5mm ステレオミニジャックです。付属の 5V IR レシーバ(IRR)を接続します。IR 信号は HDBaseT 受信器 2 に伝送されます。
㉑	-	RS-232	シリアル(RS-232)通信用端子です。HDBaseT 受信器 2 とシリアル(RS-232)通信します。
㉒	-	TCP/IP	LAN 端子(RJ-45)です。ウェブ GUI また Telnet 通信を使って、マトリクススイッチャーを制御します。
㉓	-	RS-232	シリアル(RS-232)通信用端子です。PC やサードパーティコントロールデバイスと接続しシリアル通信を通じて送信器を制御できます。 ^{※5}
㉔	-	EDID	EDID DIP スイッチです。送信器の EDID を設定します。 ^{※6}

※3 ウェブ GUI にて出力音声を設定します。

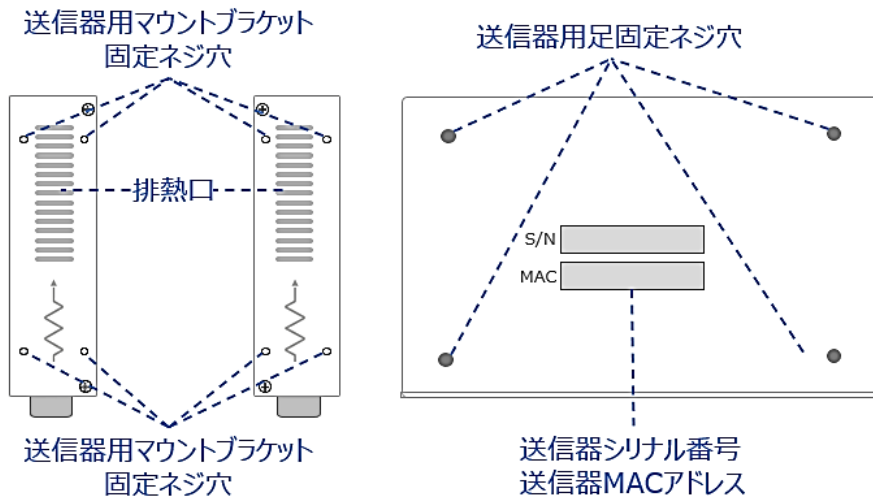
※4 2ch のみ対応しています。

※5 ウェブ GUI にてシリアル通信ボーレートを設定してください。

※6 詳しい設定方法は、[EDID DIP 設定方法](#) を参照ください。

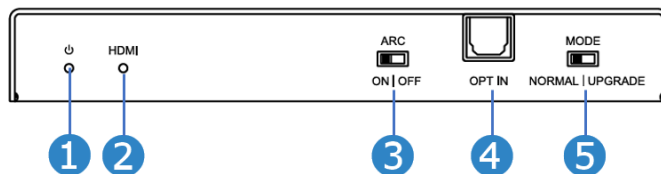
25	-	IR CTRL	IR 信号受信 3.5mm ステレオミニジャックです。付属の IR リモコンでマトリックススイッチャーを制御するには、付属の 5V IR レシーバ(IRR)を接続してご利用ください。
26	-	24V=5A	電源入力端子です。付属の AC アダプターを接続します。

側面と底面



HDBaseT 受信器

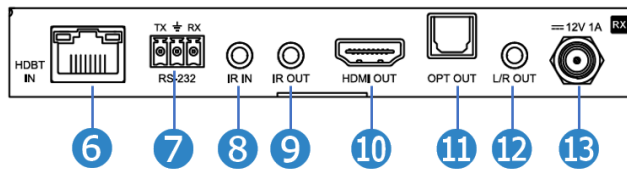
前面



番号	表示・端子	説明
1	電源ステータスランプ (電源アイコン)	電源ステータスランプです。(電源オン:青色点灯、電源オフ:消灯)
2	HDMI	本機とマトリックススイッチャーの接続ステータスランプです。 青色点灯:HDMI 信号を検知かつディスプレイ機器に接続している 消灯:HDMI 信号検知していない、またはディスプレイ機器に接続していない
3	ARC	ARC 機能オン/オフ切り替えスイッチです。
4	OPT IN	音声光デジタル Toslink(S/PDIF)入力端子です。受信器が同時に ARC 機能をオンに設定時、当端子から入力される音声信号を送信器に伝送します。 ^{※7}
5	MODE	本機の動作モード切り替えスイッチです。 Normal: ノーマルモード(こちらを使用します) UPGRADE: ファームウェアアップグレードモード

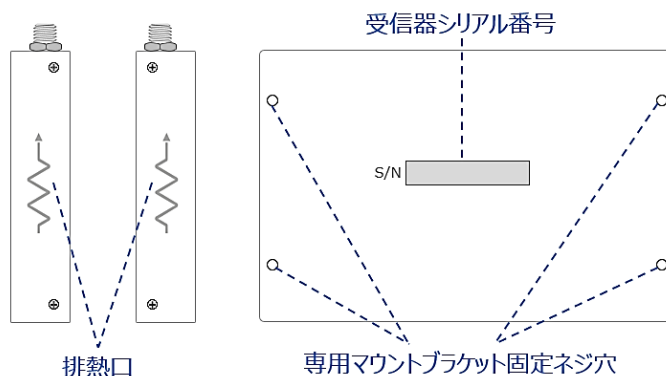
※7 送信するオーディオは HDBaseT 送信器対応するオーディオフォーマットに合わせる必要があります。

背面

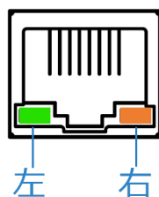


番号	端子	説明
⑥	HDBT IN	HDBaseT入力端子です。LAN ケーブルでHDBaseT 送信器と接続します。 ※8※9
⑦	RS-232	シリアル(RS-232)通信用端子です。
⑧	IR IN	IR 信号受信 3.5mm ステレオミニジャックです。付属の 5V IR レシーバ (IRR)を接続します。IR 信号はHDBaseT 送信器に伝送されます。
⑨	IR OUT	IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックです。付属の 5V IR エミッタ (IRE)を接続します。HDBaseT 送信器から伝送されてきた IR 信号を出力します。
⑩	HDMI OUT	HDMI 出力端子です。ディスプレイ機器に接続します。
⑪	OPT OUT	光デジタル Toslink(S/PDIF)出力端子です。
⑫	L/R OUT	アナログ音声 3.5mm ステレオミニジャック出力端子です。
⑬	≒ 12V 1A	別売りの AC アダプターを接続します。※LANケーブルよりPoE給電時は ACアダプターを接続しないでください。

側面と底面



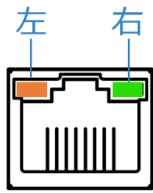
HDBaseT 入/出力端子インジケーターステータス説明



インジケータ	ステータス	説明
右	消灯	PoC 電源供給していない
右	橙色点灯	PoC 電源供給している
左	消灯	通信していない
左	緑色点灯	映像信号転送中

※8 HDBaseTに対応するLAN ケーブルをご利用ください。(詳細は [接続LANケーブルの規格について](#) を参照してください)
 ※9 本機に対応するHDBaseT 送信器及び伝送可能な最大解像度は [主な仕様](#) を参照してください。

マトリックススイッチの TCP/IP 用 LAN(RJ-45)端子インジケーターステータス説明

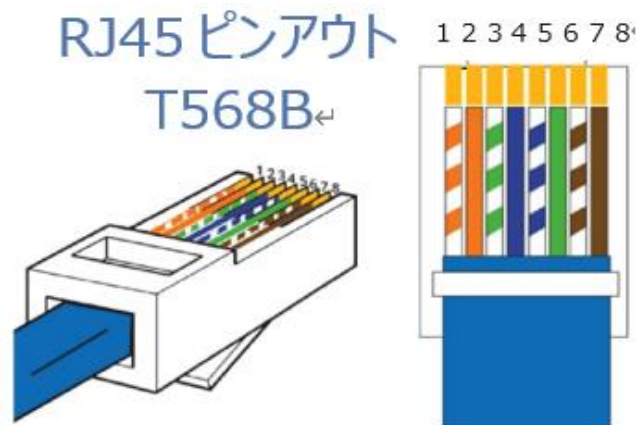


インジケータ	ステータス	説明
左	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
左	緑色点灯	データ通信中
右	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
右	橙色点滅	データ通信中

接続 LAN ケーブルの規格について

マルチキャスト製品を接続する CAT ケーブルは、正しい RJ45 ピン構成で終端してください。リンク CAT ケーブルは「ストレート」（ピン対ピン）CAT ケーブルで、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。

CAT ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な CAT ケーブルを採用することをお勧めします。本製品は、CAT5e 規格以上のケーブルで動作しますが、Blustream 社では CAT6 ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。



IR ケーブルの接続

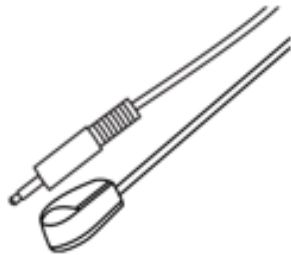
重要

Blustream 社の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V IR であることをご確認ください。12V IR 赤外線製品を使用する場合は、12V から 5V へ変換する IR コントロールケーブル IR-CAB をご利用ください。

マトリックススイッチャーは、5V IR レシーバ(IRR)x3 組と 5V IR エミッター(IRE1)x4 組が付属されています。

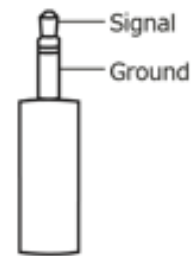
IRエミッター - IRE1

Blustream 5V IRエミッターは、ハードウェアを個別にIR制御するために設計されています。



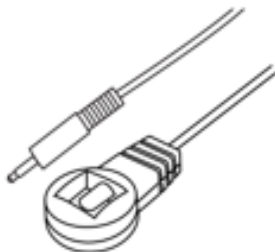
赤外線 3.5mmピンアウト

IRエミッター - モノラル3.5mm

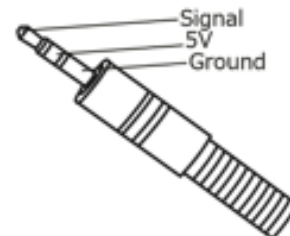


IR レシーバ - IRR

Blustream 5V IRRレシーバー：IR信号を受信し、Blustream製品を制御します。



IRレシーバ - ステレオ 3.5mm

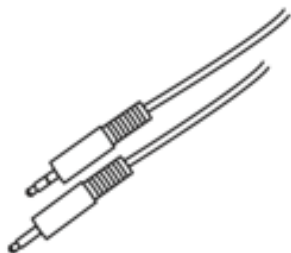


IRコントロールケーブル - IR-CAB

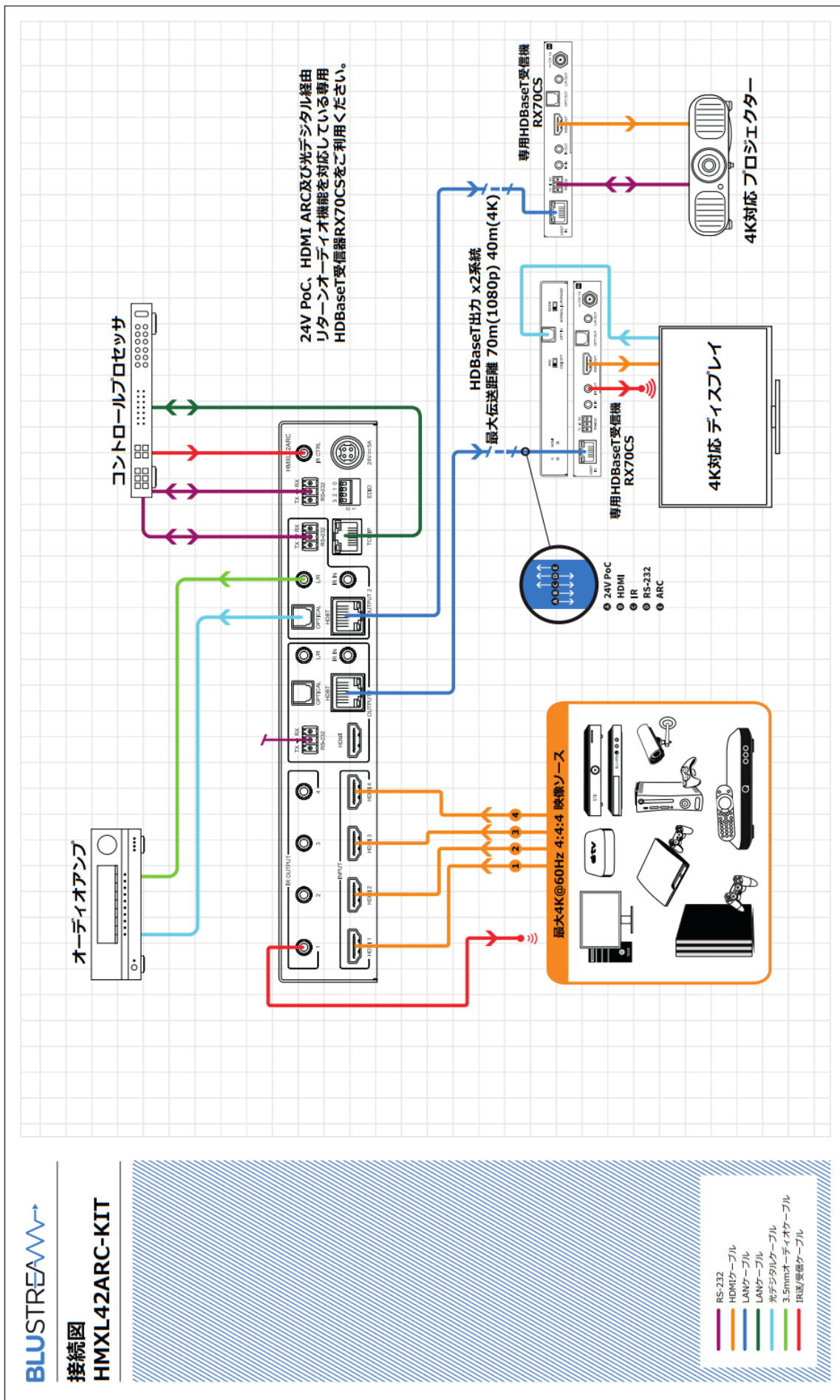
Blustream IRコントロールケーブル（3.5mm モノラル→3.5mmステレオ変換）他社製コントロールシステムをBlustream製品に接続するためのケーブルです。

12V IR製品との互換性があります。

ご注意：ケーブルは表示通りの方向性を持っています



接続図



ご使用前に

マトリックススイッチャーのブラケット及び本体用足の取付方法

ラックマウントブラケットの取付方法

マトリックススイッチャーは付属のラックマウント取付キットを使用して EIA ラックマウントに取付することができます。

付属の L 字ラックマウントをネジ(付属)で下図のように、マトリックススイッチャーの左右側面に取り付けます。



注意

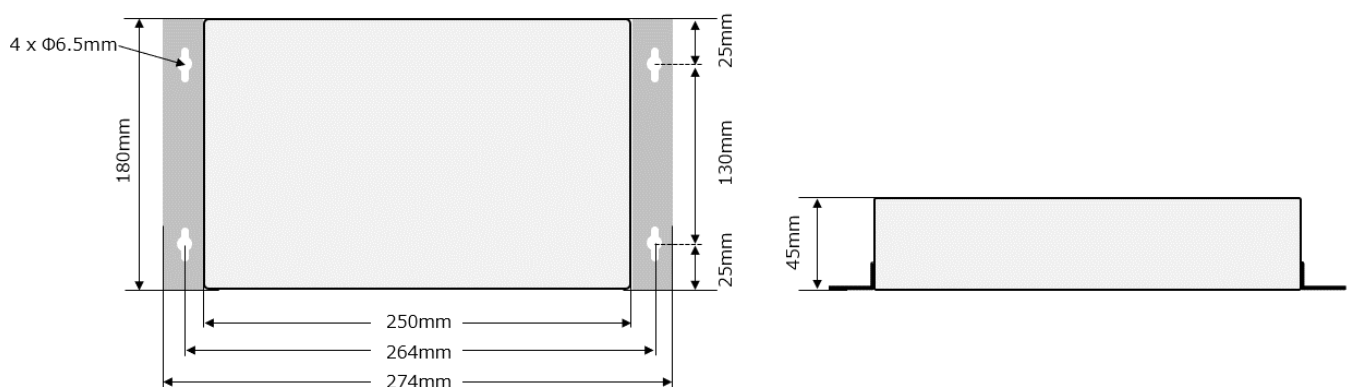
- 通気性の良い場所に設置してください。
- マトリックススイッチャーの上下左右パネルにある排熱口をふさがらないでください。
- 密閉型ラックに取り付けることを避けてください。
- 移動式ラックケースに取り付ける際、ケースの前後両面のふたを外し、マトリックススイッチャーの前後面をふさがないようにしてください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。

マウントブラケットの取付方法

付属のマウントブラケットをネジ(付属)で下図のように、マトリックススイッチャーの底面に取り付けます。

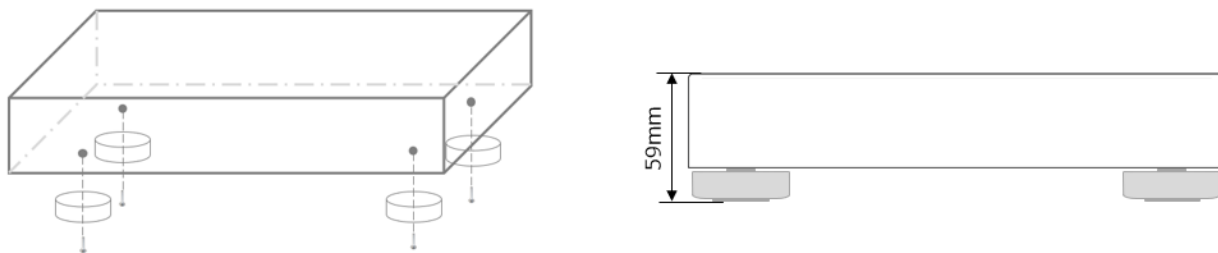


マトリックススイッチャー底面



付属足の取付方法

付属の足をネジ(付属)で下図の角度のように、マトリックススイッチャーの底面に取り付けます。

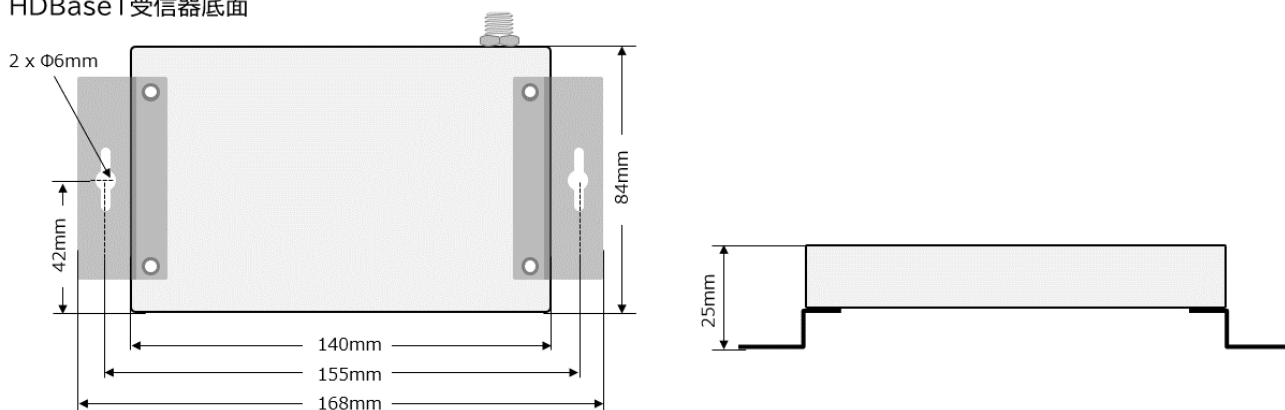


受信器用マウントブラケットの取付方法

マウントブラケットの取付方法

付属のマウントブラケットをネジ(付属)で下図のように、マトリックススイッチャーの底面に取り付けます。

HDBaseT受信器底面



注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- マトリックススイッチャーの左右パネルにある排熱口をふさがらないでください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。

マトリクススイッチャーと HDBaseT 受信器と接続する

マトリクススイッチャー及び HDBaseT 受信器に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認したうえ、LAN ケーブルを接続し、付属の AC アダプターの DC プラグを電源入力端子に接続します。

HDBaseT 受信器を PoC 電源供給による接続方法



HDBaseT 受信器を AC アダプター(別売)電源供給による接続方法

データ伝送のみ(PoC給電しない)



注意

故障の原因になる場合がありますので、HDBaseT 受信器に電源に 2 重供給しないでください。

基本の操作

電源を入れる/切る

マトリックススイッチャーに他の機器を正しく接続したら、必ず次の手順で電源のオン・オフをしてください。誤った手順で操作すると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

マトリックススイッチャーの電源を入切する時は、接続する機器及びマトリックススイッチャーの音量を最小に下げてください。

マトリックススイッチャーの電源入れるには下記の通りの方法があります。

- マトリックススイッチャー前面パネルの電源ボタン
- 付属 IR リモコン
- マトリックススイッチャーのウェブGUI
- シリアル(RS-232)通信コマンド

電源を入れる手順

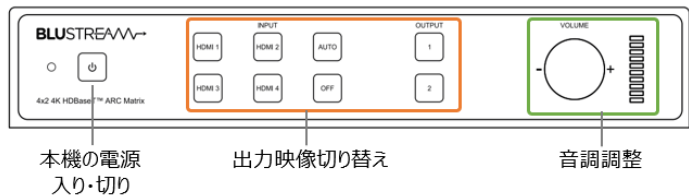
1. マトリックススイッチャー及び HDBaseT 受信器に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、付属 AC アダプターの DC プラグを DC 電源入力端子に接続します。
2. マトリックススイッチャーを電源入れます。(マトリックススイッチャー前面パネルの電源ボタン/付属 IR リモコン/ウェブ GUI/シリアル(RS-232)通信コマンド)
3. 入力ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

1. 出力機器 → 入力ソース機器の順に電源を切ります。
2. マトリックススイッチャーの電源を切ります。(マトリックススイッチャー前面パネルの電源ボタン/付属 IR リモコン/ウェブ GUI/シリアル(RS-232)通信コマンド)

マトリクススイッチャー本体前面ボタンで操作する

マトリクススイッチャー前面パネルのボタンで下記の操作を行うことができます。

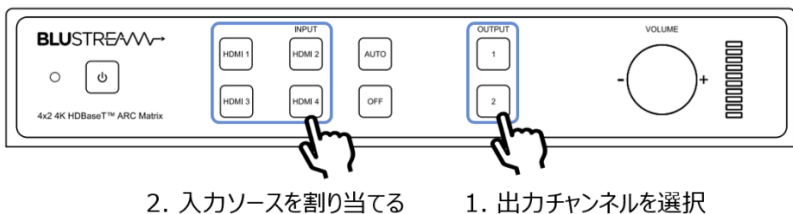


マトリクススイッチャーの電源入り・切り



出力映像の切り替え

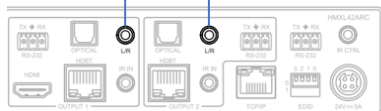
切り替え手順



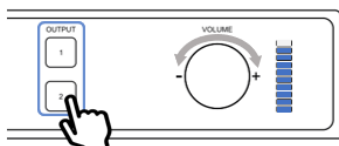
音量調整

マトリクススイッチャー前面パネルで下記の出力音声の音量を調整することができます。

- 15 アナログ音声 3.5mm ステレオミニジャック出力端子
- 19 アナログ音声 3.5mm ステレオミニジャック出力端子



音量調整方法



1. 出力チャンネルを選択
2. つまみを回して音量を調整
 - 時計回り：音量アップ
 - 反時計回り：音量ダウン

出力音声の選択

ウェブ GUI の 'Audio' ページまたはシリアル(RS-232)通信コマンドで出力音声を選択します。詳細は、[マトリックススイッチャーのオーディオ出力端子から出力されるオーディオソースの選択](#)を参照してください。

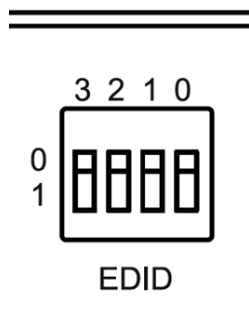


ウェブGUI - Audioページ

オーディオ選択項目	説明
HDMI Audio 1/2/3/4	HDMI入力 1/2/3/4 の音声
Audio Breakout from Output1/2	HDBaseT受信器 1/2 の出力音声
HDMI ARC from RX1/2	HDBaseT 受信器 1/2 のHDMI出力端子経由ARC音声
Toslink ARC from RX1/2	HDBaseT 受信器 1/2 のToslink入力端子経由ARC音声

EDID DIP 設定方法

EDID (Extended Display Identification Data)は、ディスプレイ機器とソース機器間で情報を交換するデータ形式です。このデータは、ソース機器に接続されているディスプレイ機器がどのようなオーディオフォーマットやビデオ解像度などに対応しているかの情報を提供します。EDID 制御にてこれらの情報をあらかじめ設定することで EDID ハンドシェイクに必要な処理を省きます。スイッチャーの EDID 設定は、マトリックススイッチャー(送信器)の背面パネルにあるEDIDスイッチで設定できます。マトリックススイッチャー対応の EDID 一覧は以下の通りです。DIP スイッチを下に下げると 1、上にあげると 0 になります。

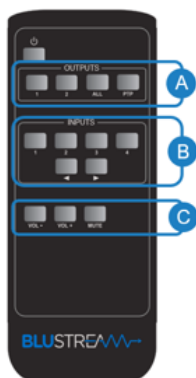


DIP ディップ位置				対応フォーマット(映像/音声)
3	2	1	0	
0	0	0	0	1080p 60Hz/2.0ch
0	0	0	1	1080p 60Hz/5.1ch
0	0	1	0	1080p 60Hz /7.1ch
0	0	1	1	1080i 60Hz /2.0ch
0	1	0	0	1080i 60Hz /5.1ch
0	1	0	1	1080i 60Hz /7.1ch
0	1	1	0	4K60Hz 4:2:0/2.0
0	1	1	1	4K60Hz 4:2:0/5.1
1	0	0	0	4K60Hz 4:2:0/7.1
1	0	0	1	4K30Hz 4:4:4/2.0
1	0	1	0	4K30Hz 4:4:4/5.1
1	0	1	1	4K30Hz 4:4:4/7.1
1	1	0	0	DVI 1280x1024 60Hz
1	1	0	1	DVI 1920x1080 60Hz
1	1	1	0	DVI 1920x1200 60Hz
1	1	1	1	EDID パススルー/ RS-232 制御による EDID 変更モード

IR リモコンで操作する

付属 IR リモコンの操作方法

付属IRリモコンの各操作エリアの説明



操作エリア	説明
A	出力チャンネルを選択します。 ALL: すべての出力チャンネルを選択します。 PTP: 各出力チャンネルに対応する入力ソースを自動割り振ります。(出力1に入力1、出力2を入力2に割り振ります)
B	入力ソースを割り当てます。 ◀: 前の入力ソースを選択します。 ▶: 次の入力ソースを選択します。
C	VOL+: アナログ出力音量を上げます。 VOL-: アナログ出力音量を下げます。 MUTE: アナログ出力音量をミュートオン/オフします。

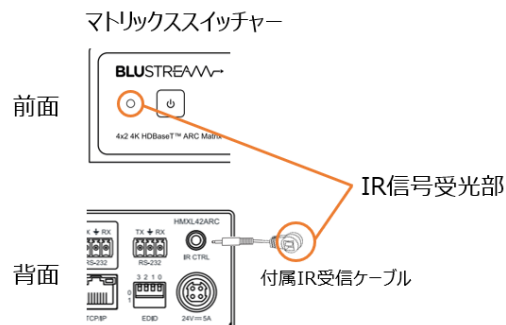
- ※ 付属 IR リモコンは CR2025 ボタン電池を使用します。
- ※ 基本的な操作方法は、マトリックススイッチャー本体前面ボタンの操作方法(出力チャンネルを選択後に入力ソースを選択)と同じです。(電源 電源 ボタンの長押しを除く)

注意

IR リモコンをマトリックススイッチャーの受光部へ向けて操作してください。

操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識しない場合があります。

また、受光部に強い光があたっていると、その光に受光部が反応して正しく認識しない場合があります。なお、付属の IR リモコンは、押し続けても連続して動作することができません。



- ※ サードパーティ制御システムの12V IRコントロールに接続する際は、マトリックススイッチャー背面IR受信動作電圧切り替えスイッチを12Vに設定し上で、IRコントロールケーブル(IR-CAB)をご利用ください。

ウェブ GUI で操作する

前準備

マトリックススイッチャーとご利用の PC を同一ネットワークに接続します。マトリックススイッチャーの IP アドレスは本体の MAC アドレスに基づき、ローカルネットで検索してください。



DHCP 機能非対応のネットワークスイッチ/ルーター接続する時、PC の IP アドレスをマトリックススイッチャーの初期 IP アドレスと同じセグメントに設定してください。

マトリックススイッチャーの初期 IP アドレス: 192.168.0.200/24



PC の設定 - IP アドレスの設定方法

サードパーティ制御システムとマトリックススイッチャーが通信する環境を再現するには、ご利用の PC の IP アドレスをマトリックススイッチャーと同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

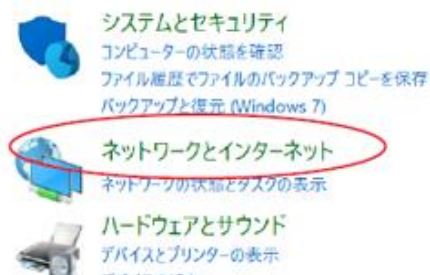
DHCP(動的)ネットワークに接続しているマトリックススイッチャーの IP アドレスを確認する場合はシリアル(RS-232)通信コマンド 'STATUS' で確認できます。

PC の IP アドレス変更方法

1. Windows ツールバーから 'コントロールパネル' を選択します。
2. 'ネットワークインターネット' を選択します。



コンピューターの設定を調整します



3. ‘ネットワークの状態とタスクの表示’ を選択します。



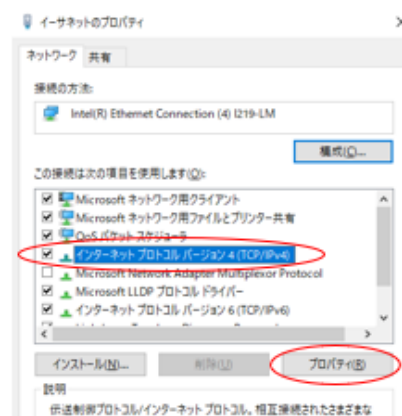
4. ‘アダプターの設定の変更’ を選択します。



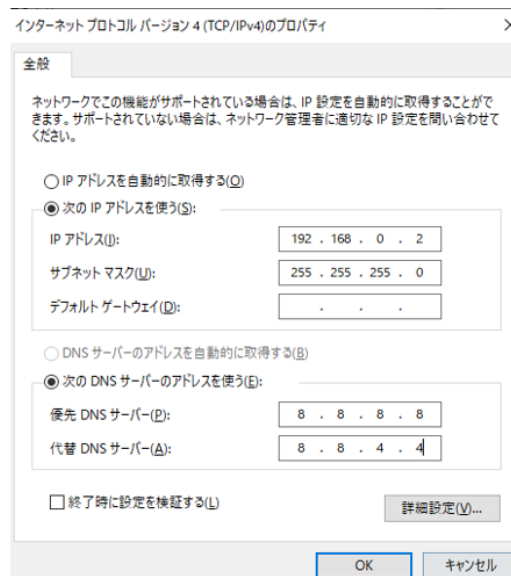
5. ‘イーサネット’ を右クリックし、‘プロパティ’ を選択します。



6. ‘インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)’ を選択し、‘プロパティ’ を選択します。



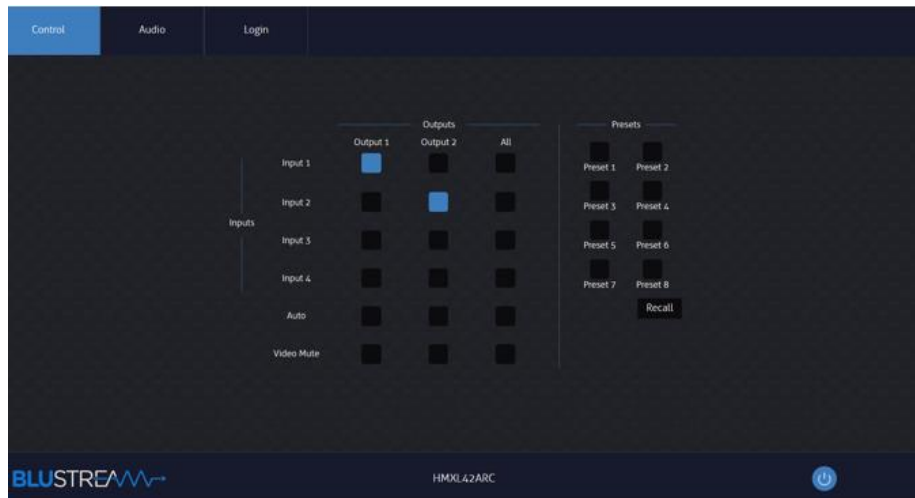
7. ‘次の IP アドレスを使う’ にチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。‘OK’ → ‘OK’ の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



ウェブ GUI へのログイン

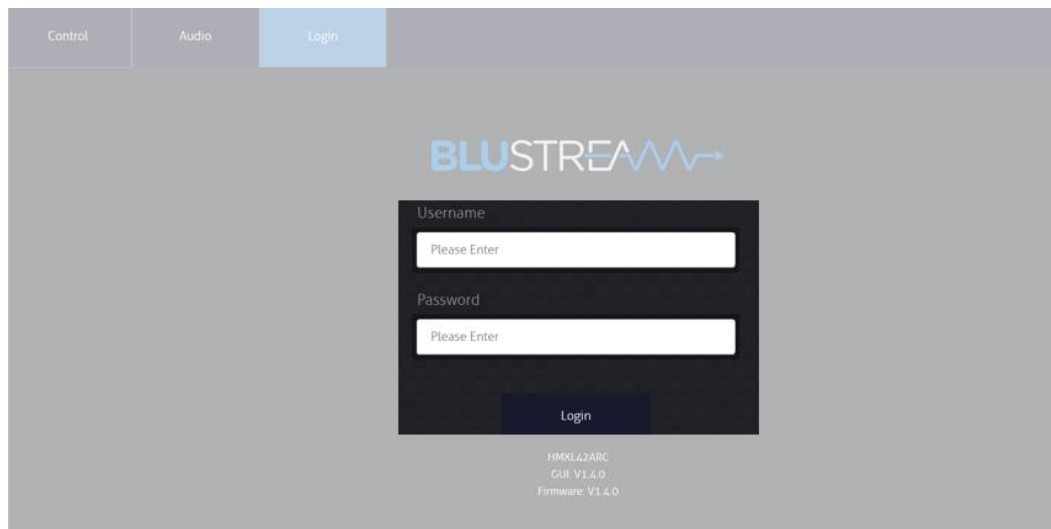
ウェブ GUI へのログイン

PC 側でウェブブラウザ(Microsoft Edge や Google Chrome)を立ち上げ、URL 入力欄に、マトリックススイッチャーの IP アドレスを入力し、ウェブ GUI にアクセスします。ゲストモードが表示されます。



ゲストモード - 'Control' ページ

'Login' ページをクリックし、ユーザーネームとパスワードを入力し、ログインします。



'Login' ページ

初期ログイン Username: **blustream** Password: **1234**

初回ログインする際、ログインパスワード(12桁までの半角英数符号)を変更する必要があります。



初回ログイン - パスワード変更

ウェブ GUI 画面構成 ※10※11



ページ

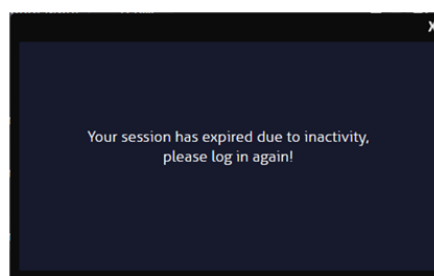
設定項目/セッション

電源オン / オフ ボタン
ウェブGUIログアウトボタン

注意

本体前面ボタン、IR リモコンで行った操作後のステータス情報はウェブ GUI に反映するには数秒間の時間が必要となります。最新の設定値をウェブ GUI にて確認するには、ページを更新 (Windows の場合、F5 キーを押す) してみてください。

ウェブ GUI への最終操作から一定時間(約 3 分間)経過後に自動的にログアウトされます。



ウェブGUI自動ログアウト


出力映像の切り替え

ウェブ GUI の 'Control' ページで各出力への入力ソースの割り当て(手動)、自動切り替えのオン/オフ、映像出力のオン/オフなどの操作を行うことができます。

出力へのソースの割り当て方法

※10 IR ルーティング、HDMI-CEC コマンド送信、マトリックススイッチャーからの RS-232 コマンド送信機能を使用する際、必ず事前検証してください。

※11 'Guest Mode' は予備機能のため、使用しないでください。

ウェブ GUI の 'Control' ページで該当する出力への入力ソースの割り当てたい入力チャンネルの  をクリックします。



'Control' ページ

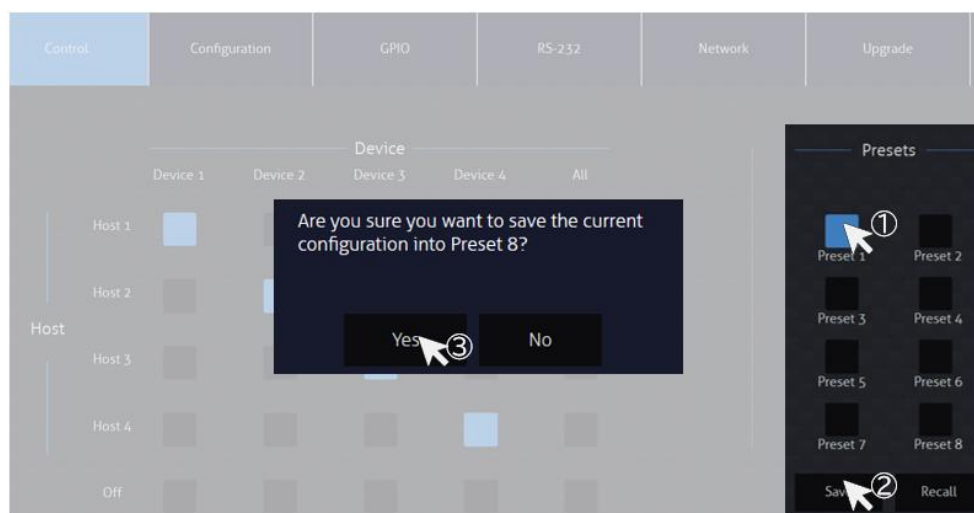
項目	説明
All	すべての出力にこの入力ソースを割り当てます。
Auto	該当する出力に入力自動割り当て(新しく接続される入力ソースに切り替える)機能をオン/オフ設定します。 オン: 青色に点灯 オフ: 消灯
Video Mute	該当する出力の映像をオフ/オン設定します。(音声は出力されます) オフ: 青色に点灯 オン: 消灯

プリセットの保存・呼び出し・名前変更

ウェブ GUI の 'Control' ページで出力への入力ソース割り当てパターンを、プリセットの保存・呼び出しすることができます。プリセットは計 8 種類を保存できます。

プリセットの保存方法

出力への入力ソース割り当て操作が完了後、保存したいプリセットの番号 'Preset1-8' を選択し、'Save' - 'Yes' の順にクリックします。



'Control' ページ

プリセットの呼び出し方法

呼び出したいプリセットの番号 'Preset1-8' を選択し、'Recall' をクリックします。



'Control' ページ

プリセット名称の変更方法

ウェブ GUI の 'Configuration' ページ内 'Presets Naming' セクションで、変更したいプリセットをクリックし、右側の入力欄にプリセット名を入力すると、約 2 秒後に新しいプリセット名が適用されます。(入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ)^{※12}



'Configuration' ページ - 'Presets Naming' セクション

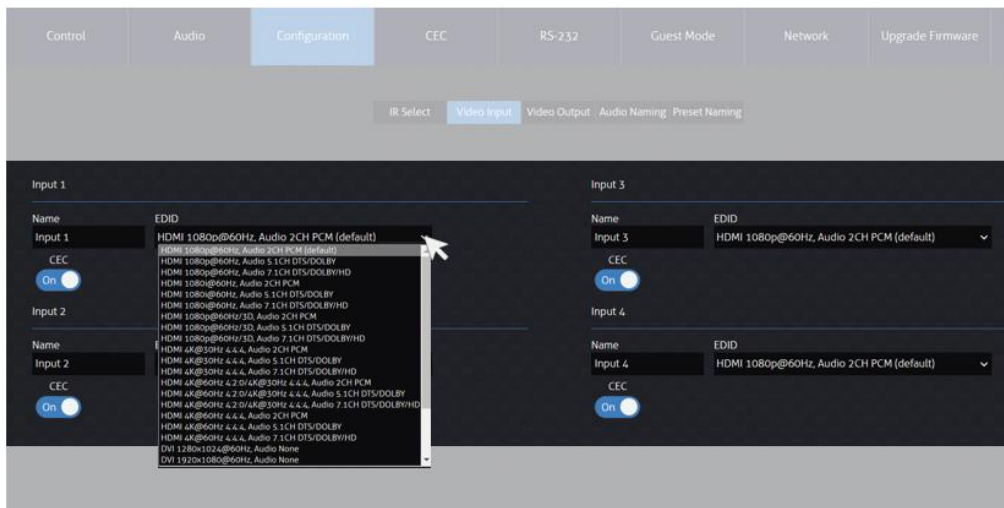
※12 ご利用 PC の解像度により、入力されたプリセット名称がすべて表示されない可能性があるため、'Control' タブ内 'Presets' での表示を確認しながら、プリセット名称を変更することをお勧めします。

入力ソース機器に対する EDID エミュレータの設定

マトリックススイッチャーは EDID エミュレータ機能を搭載し、22 種類のプリセット以外に、HDBaseT 受信器から EDID 情報をコピーすることも可能です。

EDID の設定方法

1. マトリックススイッチャー背面のディップスイッチを '1111' に設定します。(設定方法は [EDID DIP 設定方法](#) をご参照ください。)
2. ウェブ GUI 'Configuration' ページ内、'Video Input' セクションをクリックし、各入力ソースの EDID を指定します。



'Configuration' ページ - 'Video Input' セクション

入力欄・項目	説明
Name	各入力ソース名です。その下に入力欄で入力ソース名を変更することができます。(入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ) ※13
EDID	各入力の EDID エミュレータプリセットを指定できます。 ※14※15
CEC	各 HDMI 入力端子に接続しているディスプレイ機器に HDMI-CEC コマンド送信機能をオン/オフできます。 ※16

※13 ご利用 PC の解像度により、入力されたプリセット名称がすべて表示されない可能性があるため、'Control' ページでの表示を確認しながら、名称を変更することをお勧めします。

※14 変更された新しい EDID を適用するため、ソース機器によって出力を一時的オフ、または再起動する場合があります。

※15 'User EDID' を設定するには、カスタム EDID ファイル(.bin 拡張子)をウェブ GUI 経由で本機へアップロードする必要があります。(ソース機器の動作及びソース機器用カスタム EDID ファイルについては、ソース機器のメーカーへ問い合わせしてください。)

※16 HDMI-CEC 機能について、[HDMI-CEC コマンド送信](#) を参照してください。

HDBaseT、HDMI 出力設定

ウェブ GUI の 'Configuration' ページ内、'Video Output' セクションにて、マトリックススイッチャーの HDBaseT、HDMI 出力について、下記の項目を設定することができます。



'Configuration' ページ - 'Video Output' セクション

項目	説明	対応出力
Name	各出力の名称です。その下に入力欄で名称を変更することができます。 (入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ) ^{※17}	
CEC	CEC コマンド送信機能です。(初期設定:オン)	出力 1、出力 2
Downscaler	接続するディスプレイ機器の仕様に合わせ、出力解像度を 1080p@60Hz に自動ダウンスケーリングする機能です。 ^{※18}	出力 1、出力 2
PoC	マトリックススイッチャー(送信器)から HDBaseT 受信器への PoC 電源供給する機能です。 ^{※19}	出力 1、出力 2
IR	マトリックススイッチャー(送信器)から HDBaseT 受信器間で IR 双向伝送する機能です。	出力 1、出力 2
EDID Priority	EDID の優先を指定する機能です。出力 1 の HDBaseT/HDMI、どちらの出力端子に接続するディスプレイ機器の EDID 情報に指定するかを指定することができます。	出力 1 のみ

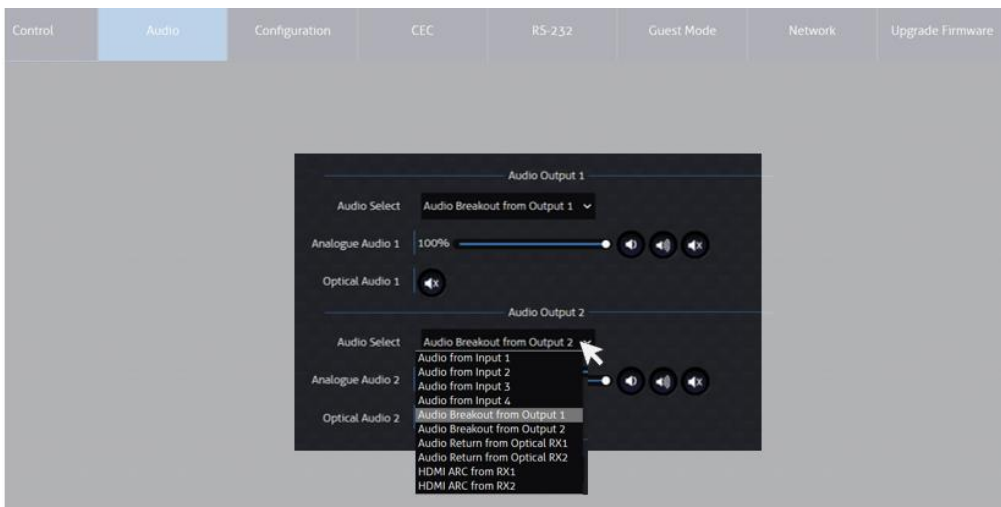
※17 ご利用 PC の解像度により、入力された出力名称がすべて表示されない可能性があるので、'Control' ページでの表示を確認しながら、名称を変更することをお勧めします。

※18 'EDID Priority' で指定した出力端子に接続しているディスプレイ機器の仕様を読み取り、ダウンスケーリングするかどうかを判断します。

※19 PoC 給電をオフにした場合、AC アダプター(別売)で HDBaseT 受信器に給電してください。

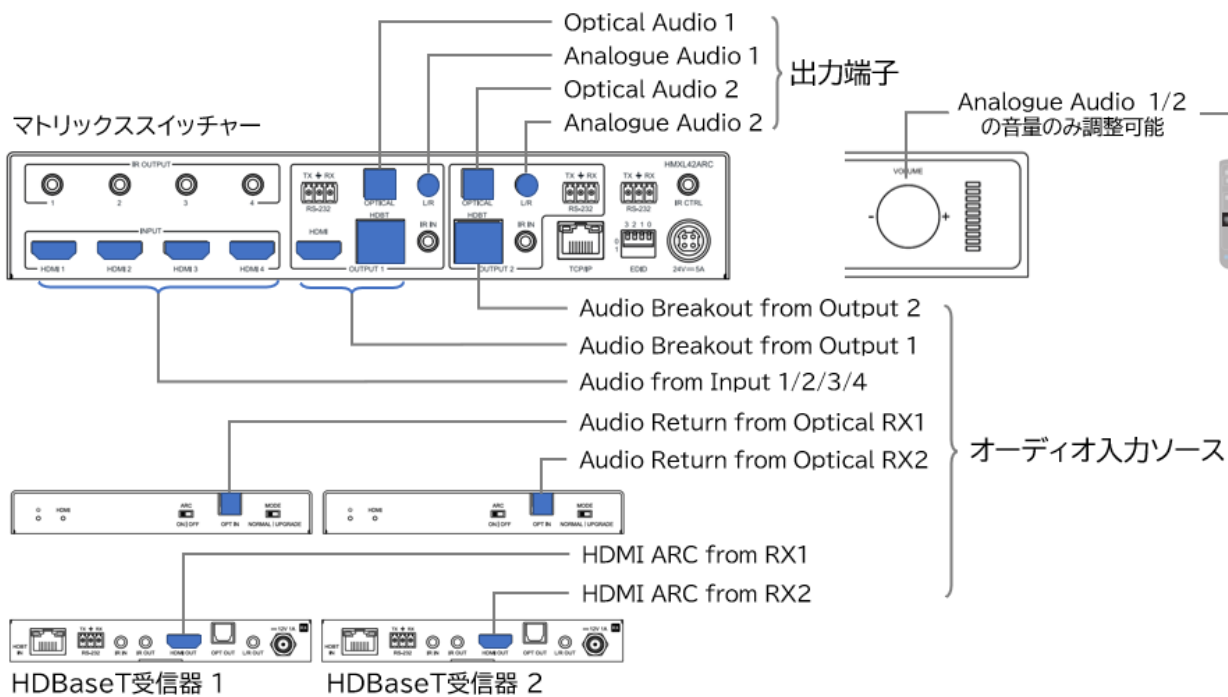
マトリックススイッチャーのオーディオ出力ソースの選択

ウェブ GUI の 'Audio' ページ内、マトリックススイッチャーのオーディオ出力端子から出力されるオーディオソースを選択することができます。



'Audio' ページ

マトリックススイッチャーの出力端子及びオーディオ入力ソース一覧 ※20※21



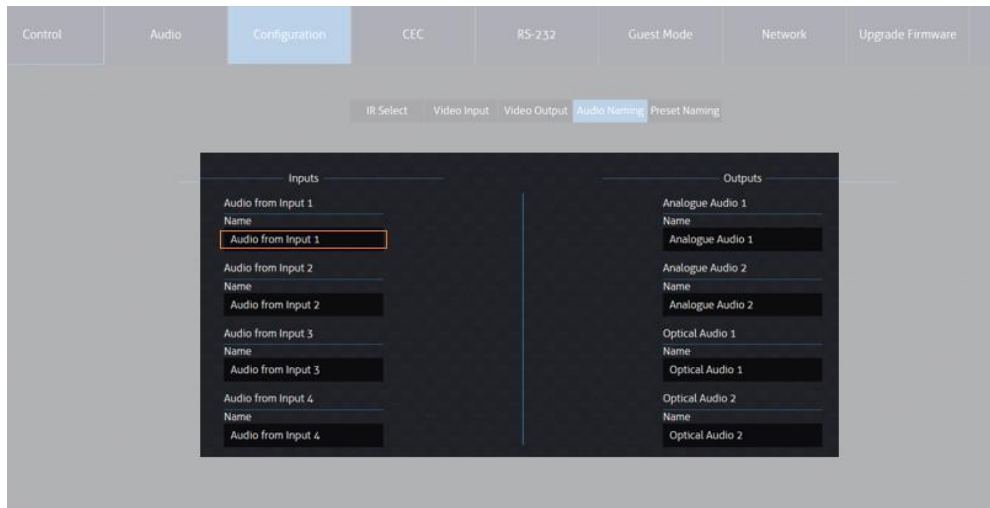
※20 3.5mm ステレオミニジャック出力端子は 2ch オーディオのみ対応しています。
 ※21 ARC 音声は 2ch のみ対応しています。

オーディオソース名称の変更

ウェブ GUI ‘Configuration’ ページ内、‘Audio Naming’ セクションにて、オーディオ入力ソースの名称を変更することができます。

オーディオソース名称の変更方法

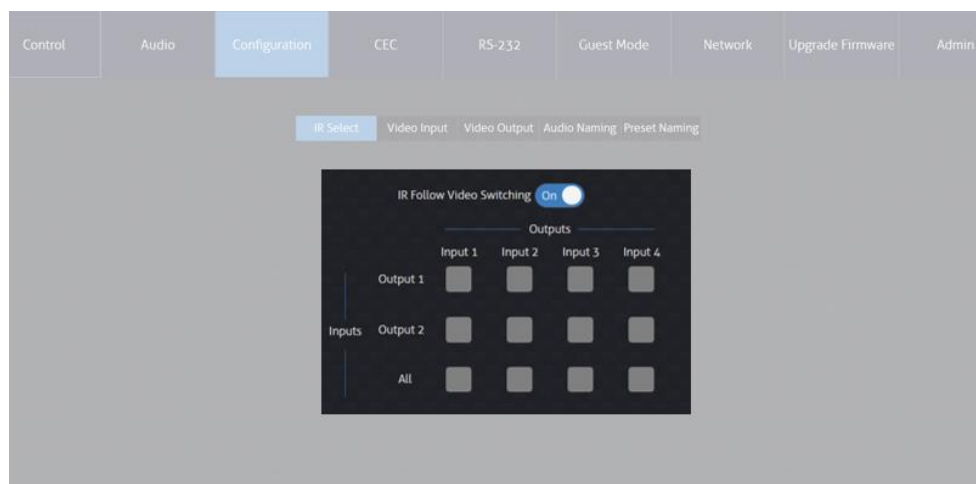
変更したいオーディオソースの右側の入力欄に新しい名称を入力すると、約 2 秒後に新しい名称が適用されます。(入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ)



‘Configuration’ ページ – ‘Audio Naming’ セクション

IR 信号ルーティングの設定

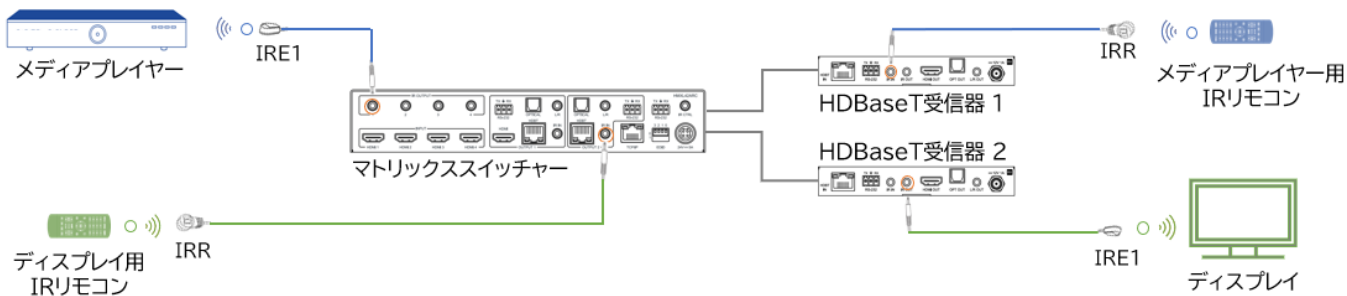
ウェブ GUI ‘Configuration’ ページ内、‘IR Select’ セクションにて、IR 信号ルーティングモードの変更、手動設定を行うことができます。



‘Configuration’ ページ – ‘IR Select’ セクション

‘IR Follow Video Switching’ 項目を ‘On’ に設定すると、IR 信号は各出力の映像ソースの切り替えと連動します。

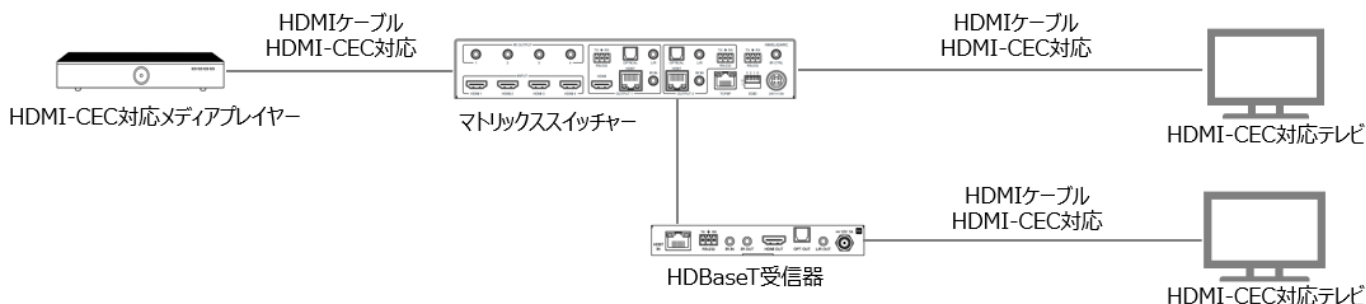
‘IR Follow Video Switching’ 項目を ‘Off’ に設定すると、IR 信号を個別でルーティングすることができます。



HDMI-CEC コマンド送信

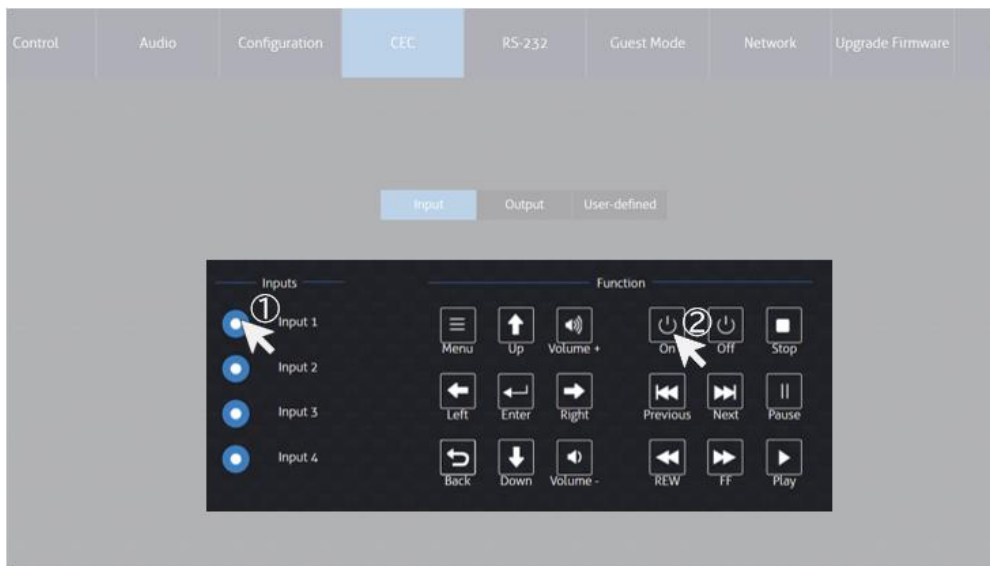
ウェブ GUI ‘CEC’ ページ内、‘Input’、‘Output’ ‘User-defined’ セクションで、各入出力に接続する機器に CEC コマンドを送信することができます。

ウェブGUIでHDMI-CECコマンドを送信



‘Input’ セクション

あらかじめ定義された CEC コマンドをマトリックススイッチャーの各入力に接続されているソース機器に送信することができます。



‘CEC’ ページ – ‘Input’ セクション

‘Output’ セクション

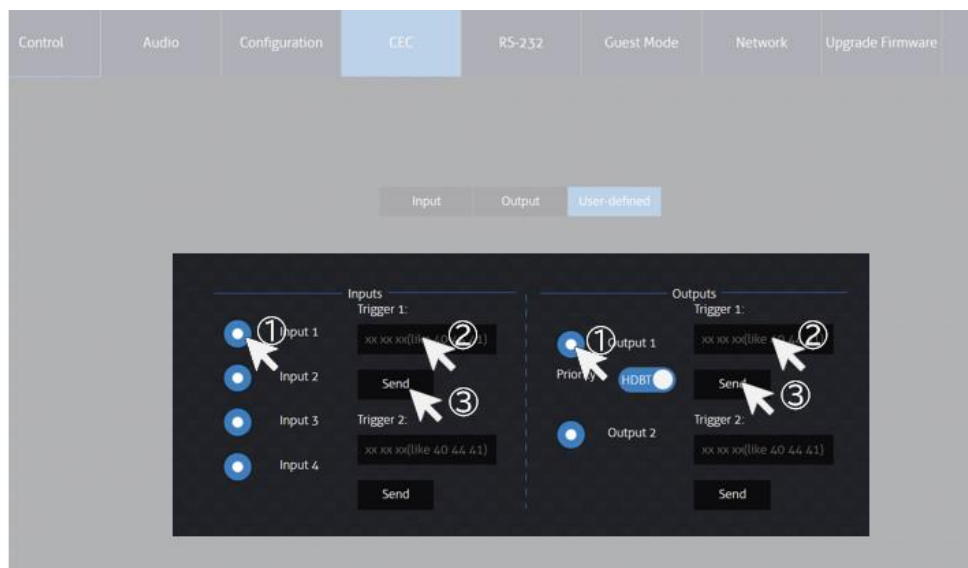
あらかじめ定義された CEC コマンドを HDBaseT 受信器の HDMI 出力端子に接続されているディスプレイ機器に送信することができます。



‘CEC’ ページ – ‘Output’ セクション

‘User-defined’ セクション

カスタム CEC コマンドをマトリックススイッチャーの各入力に接続されているソース機器、または HDBaseT 受信器の HDMI 出力端子に接続されているディスプレイ機器に送信することができます。 ※22※23



‘CEC’ ページ – ‘User-defined’ セクション

操作手順

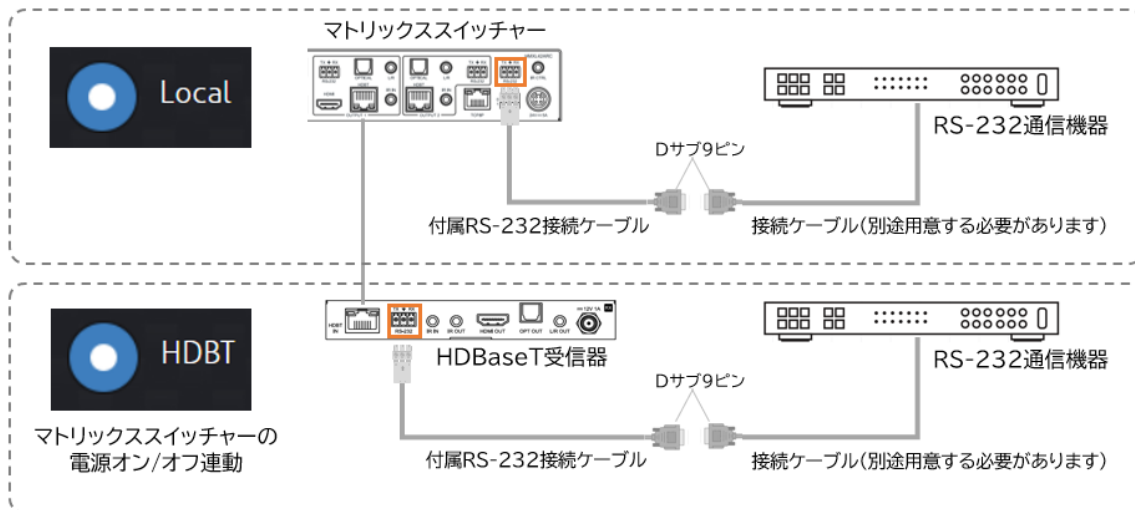
1. 入力/出力を選択
2. コマンド入力欄にコマンドを入力
3. ‘Send’ をクリックして送信

※22 マトリックススイッチャーのウェブ GUI から送信される HDMI-CEC コマンドが入力ソース機器、出力ディスプレイ機器で動作するには、該当入出力チャンネルの‘CEC’を有効に設定したうえ、HDMI-CEC 対応する各デバイス間と HDMI-CEC 対応の HDMI ケーブルで接続する必要があります。

※23 メディアプレイヤーやテレビメーカー各社独自に HDMI-CEC 連携機能を設定(定義)しているため、マトリックススイッチャーのウェブ GUI から送信される HDMI-CEC コマンドが動作しないことがあります。各デバイスの HDMI-CEC 対応状況については、各メーカーにお問い合わせください。

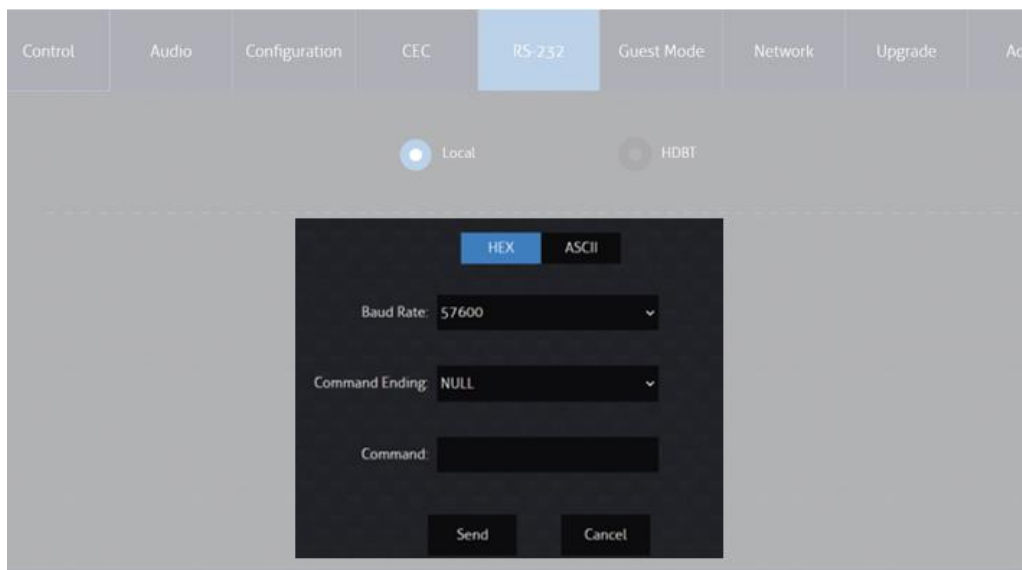
シリアル(RS-232)通信コマンドを送信

ウェブ GUI ‘RS232’ ページから、マトリックススイッチャー本体、または HDBaseT 受信器のシリアル(RS-232)通信用端子経由で、シリアル(RS-232)通信コマンドを送信することができます。



‘Local’ セクション

マトリックススイッチャー本体のシリアル(RS-232)通信用端子経由でシリアル(RS-232)通信コマンドを送信することができます。



‘RS-232’ ページ – ‘Local’ セクション

操作手順

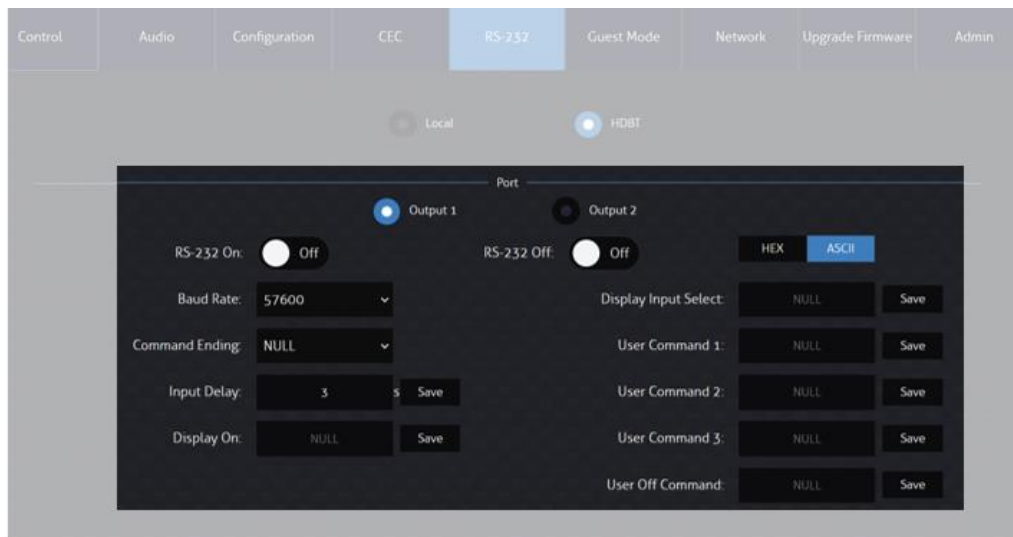
1. シリアル(RS-232)通信設定項目を設定
 - コード種類(HEX/ASCII)、
 - ボーレート(2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)、
 - コマンドエンディング(NULL/CR/LF/CR+LF)
2. コマンド入力欄にコマンドを入力
3. ‘Send’ をクリックして送信

‘HDBT’ セクション

HDBaseT 受信器のシリアル(RS-232)通信用端子経由で、マトリックススイッチャーの電源オン/オフ連動シリアル(RS-232)通信コマンドを自動送信するよう設定することができます。

RS-232 ON :マトリックススイッチャーの電源オン連動

RS-232 OFF:マトリックススイッチャーの電源オフ連動



‘RS-232’ ページ – ‘HDBT’ セクション

操作手順

1. 送信先の HDBaseT 受信器(Output1/Output2)を指定
2. シリアル(RS-232)通信設定項目を設定
 - コード種類(HEX/ASCII)
 - ボーレート(2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)
 - コマンドエンディング(NULL/CR/LF/CR+LF)
 - マトリックススイッチャー電源オン連動コマンド送信遅延時間(Input Delay:0~10 秒)
3. コマンド入力欄にコマンドを入力
 - マトリックススイッチャー電源オン連動コマンド入力欄
 - Display On – ディスプレイ電源オン
 - Display Input Select – ディスプレイ入力切り替え
 - User Command 1/2/3 – カスタムコマンド
 - マトリックススイッチャー電源オフ連動コマンド入力欄
 - User Off Command – カスタムコマンド
4. ‘Save’ をクリックして保存

注意

‘RS-232 On’、‘RS-232 Off’ はコマンド設定後、自動的にオンになります。

‘RS-232 On’、‘RS-232 Off’ は手動でオフします。

マトリックススイッチャー電源オン連動コマンドのみが送信遅延時間を設定することができます。

マトリックススイッチャー電源オフした時、連動コマンドが即座に送信されます。

ネットワークの設定

ウェブ GUI ‘Network’ ページでマトリックススイッチャーのネットワーク設定の確認及び変更を行います。設定変更した後、‘Save’ をクリックし、新しい設定を適用します。



‘Network’ ページ

項目	説明
MAC Address	MAC アドレスです。
DHCP/Static IP	ネットワークの動作モード(‘DHCP’ / ‘Static IP’)設定です。 ※24
IP Address	IP アドレスです。 ※25
Subnet Mask	サブネットマスクです。 ※25
Gateway	ゲートウェイアドレスです。 ※25
mDNS	mDNS 機能のオン/オフ設定です。 ※26
Port 8000	Telnet 接続ポート(8000)のオン/オフ設定です。 ※26
Telnet Access	Telnet 接続のオン/オフ設定です。 ※26
Telnet Port	Telnet 接続ポートの入力欄です。 ※27
Device Name	デバイス(ドメイン)名を入力欄です。 ※26

※24 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(初期設定値である 192.168.0.200 には戻りません)

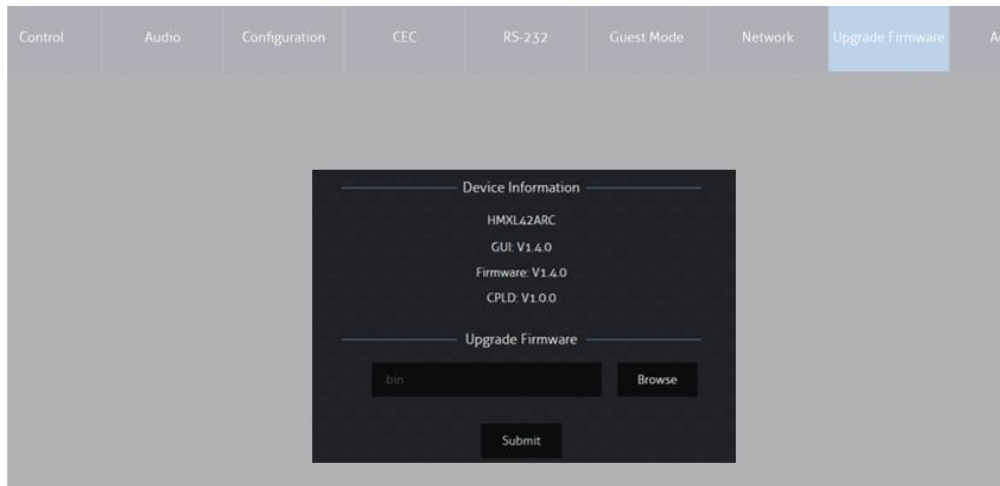
※25 IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、本機の ‘Static IP に’ に設定してから変更してください。

※26 ‘mDNS’、‘ドメイン名称’、‘Telnet 接続ポート’、‘Telnet 接続’ 設定機能を利用する場合は設置環境のネットワーク管理者に設定値をご確認ください。

※27 マトリックススイッチャーにて Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、マトリックススイッチャーの Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

ファームウェアバージョン情報の確認及びアップグレード

ウェブ GUI ‘Upgrade Firmware’ ページでマトリックススイッチャーのファームウェアバージョン、GUI バージョン情報が確認できます。



‘Upgrade Firmware’ ページ

項目	説明
GUI	マトリックススイッチャーのウェブ GUI のバージョン情報です。
Firmware	マトリックススイッチャーのファームウェアのバージョン情報です。

ウェブ GUI ログインアカウントの設定

ウェブ GUI ‘Admin’ ページで管理者、ゲスト、User ユーザーを含む最大 8 人のユーザーログイン名とパスワードの変更、各ページへのアクセス権限を割り当てることができます。



‘Admin’ ページ

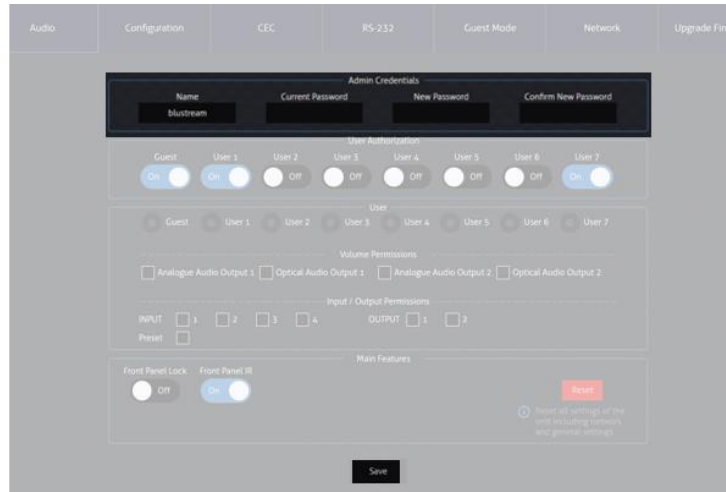
ウェブ GUI のログインアカウントは下記 3 種類があります。

アカウント種類	アクセス権限を割り当て可能な機能									
	Control	Audio	Configu ration	CEC	RS232	Network	Upgrade Firmware	Admin	Power	
管理者(Admin)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ゲスト(Guest)	○	○	X	X	X	X	X	X	○	
ユーザー1~8 (User1~8)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

管理者(Admin)ログイン名及びパスワードの変更方法

ウェブ管理者(Admin)の入力欄に新しいログイン名と新旧パスワードを入力した後、'Save'をクリックします。※28

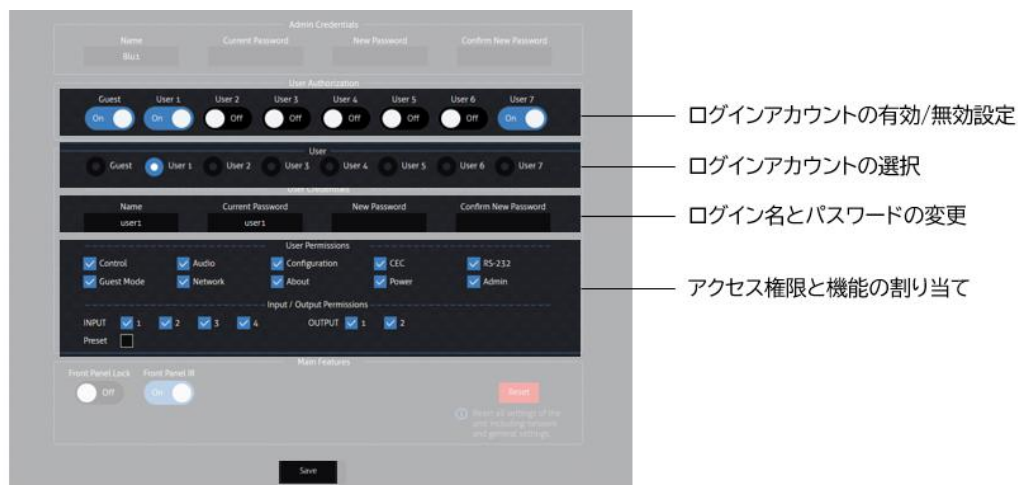
入力欄	説明
Name	ログイン名を入力します。(12 桁までの半角英数のみ入力可能です。)
Current Password	現在のログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角数字のみ入力可能です。)
New Password	新しいログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角数字のみ入力可能です。)
Confirm New Password	確認のため、新しいログインパスワードを再度入力します。



‘Admin’ ページ

ゲスト及びユーザー(User)1~8アカウントのアクセス権限割り当て方法

1. アクセス権限を割り当てたいログインアカウントを有効に設定します。
2. アクセス権限を割り当てたいログインアカウントを選択します。
3. ログインアカウント名とパスワードの入力欄に新しいログイン名と新旧パスワードを入力します。※29
4. アクセス権限を割り当てます。
5. 'Save' をクリックします。 ※26



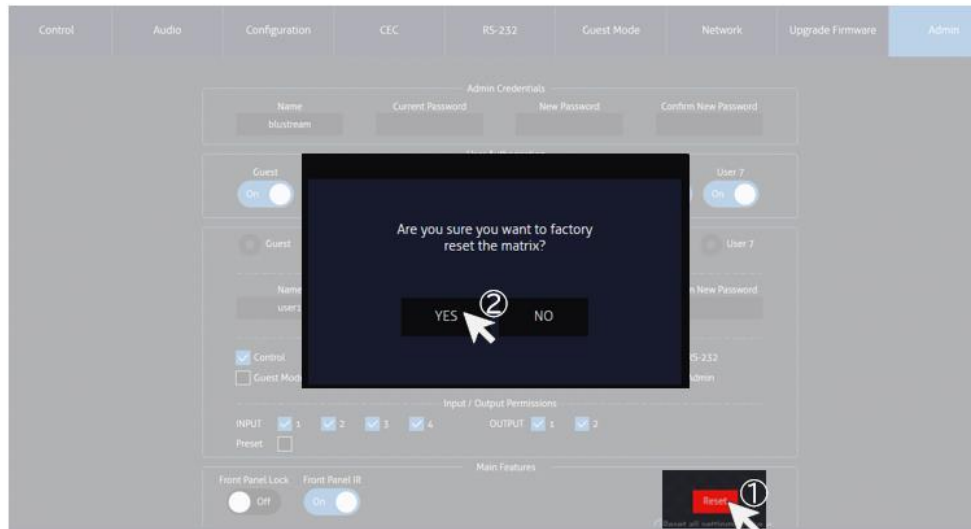
‘Admin’ ページ

※28 エラーメッセージとその説明: 'Incorrect current Password, Please try again!' - 現行パスワード入力間違いです。正しいパスワードを入力してください。 'Password cannot have special characters.' - 対応していない文字を入力しています。入力可能な文字でもう一度入力してください。

※29 各入力欄に入力可能な文字は管理者(Admin)の入力欄と同様です。

設定のリセット

ウェブ GUI 'Admin' ページでマトリックススイッチャー設定を初期設定にリセットできます。 ※30



'Admin' ページ

その他設定

マトリックススイッチャーの前面パネルのタッチボタン、前面パネルの IR 信号受光をオン/オフに設定することができます。



'Admin' ページ

項目	説明
Front Panel Lock	マトリックススイッチャー前面パネルボタン操作ロック機能です。 Off: ボタン操作可能 On: ボタン操作不可
Front Panel IR	マトリックススイッチャー前面パネル IR 信号受光のオン/オフ機能です。 On: IR 信号受光可能 On: IR 信号受光不可

※30 リセット中、約 1 分間ウェブ GUI へのアクセス及び Telnet 接続はできなくなります。

シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンドで制御する

シリアル(RS-232)通信設定値

シリアル(RS-232)通信コマンドで制御します。

制御コマンドの一覧は [シリアル\(RS-232\)通信コマンドで制御する](#) をご参照ください。

初期値は下記の通りです。

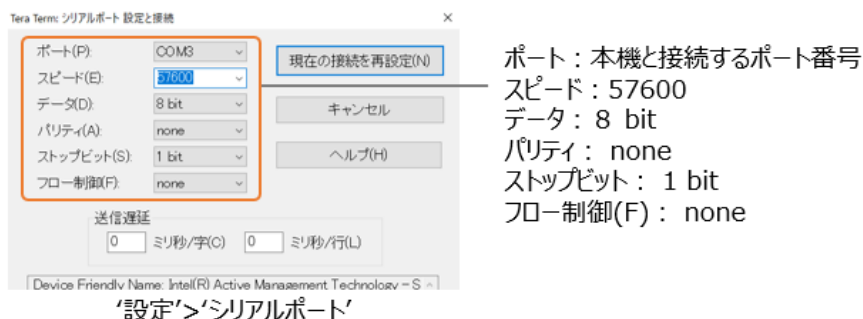
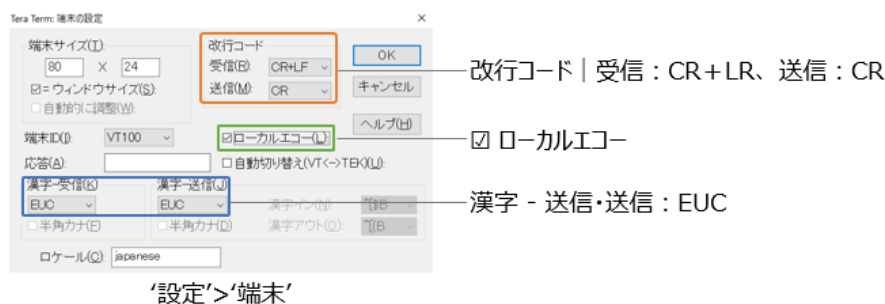
項目	設定値
ボーレート	57600
データビット	8ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1ビット
フローコントロール	なし(None)

Telnet 通信ポート

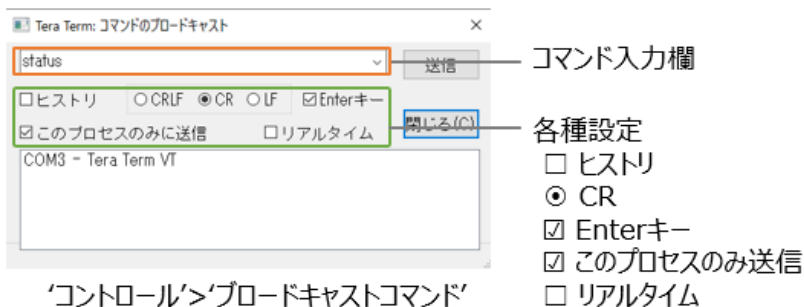
Telnet 通信ポート	23(初期設定値) ^{※31}
--------------	--------------------------

ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)

ターミナルエミュレータ「Tera Term」を利用する場合は、以下の設定を行い、コマンド送信してください。



※31 Telnet 通信ポートはマトリックススイッチャーのウェブ GUI にて変更できます。詳細は [ネットワークの設定](#) を参照してください。



シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンド

マトリックススイッチャーは、シリアル通信及び、TCP/IP 通信経由で制御が可能です。利用可能なすべてのシリアル(RS-232)通信コマンドを以下のページに記します。

良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要、不要場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

- ・スペース(空白) - マトリックススイッチャーはスペース(空白)を認識せず動作します。
例: '1' は '01' は同じとみなします。
 - 文字列のフォーマット: 'OUT01FR02'
 - サードパーティ制御システムのコマンド例: 'OUT{スペース(空白)}01{スペース(空白)}FR02'
- ・ボーレートまたはその他のシリアル(RS-232)通信プロトコルの設定間違い

システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答
コマンド一覧を取得する	?	コマンド '?'、'HELP' の応答例を参照してください
コマンド一覧を取得する	HELP	
システムステータス情報を取得する	STATUS	コマンド 'STATUS' の応答例を参照してください
入力信号情報を取得する	INSTA	コマンド 'INSTA' の応答例を参照してください
出力信号情報を取得する	OUTSTA	コマンド 'OUTSTA' の応答例を参照してください
制御情報を取得する	CTRLSTA	コマンド 'CTRLSTA' の応答例を参照してください
入出力音声情報を取得する	AUDSTA	コマンド 'AUDSTA' の応答例を参照してください
ファームウェアバージョン情報を取得する	FWVERSION	コマンド 'FWVERSION' の応答例を参照してください

```

=====
HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
FW Version: V1.4.0

===== System Information Commands
?/HELP      Print Help Information
STATUS      Print System Status And Port Status
INSTA       Print All Input Status
OUTSTA      Print All Output Status
CTRLSTA     Print All Control Status
PRESETSTATUS Print All Preset Configurations
AUDSTA      Print All Audio Status
FWVERSION   Print FW Version
===== System Control Commands
PON/OFF     Set System Power On Or Off
KEY ON/OFF  Set System Key Control On Or Off
IR ON/OFF   Set System IR Control On Or Off
    
```

コマンド‘?’、‘HELP’の応答例(一部)

```

=====
HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
FW Version: V1.4.0

Power      IR      Key      Baud      IRFV      Output1
ON         ON       ON       57600     ON        HDBT

InputPort  EdidIndex Connected CEC      IRInput
01         Default_00 No       ON       1
02         Default_00 No       ON       2
03         Default_00 No       ON       OFF
04         Default_00 No       ON       OFF

OutputPort InputPort Connected OSP      Switch   PoC      RS232ctr CEC
Scaling   IRctr   EnableOutput GuestMode
1         1       Yes        SNK     Manual   ON       OFF      ON
ON        ON       ON         OFF
2         2       No         SNK     Manual   ON       OFF      ON
ON        ON       ON         OFF

OutputPort AudioFrom Optical Analog AnalogVol AnalogMute
    
```

コマンド‘STATUS’の応答例(一部)

```

=====
HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
FW Version: V1.4.0

Power      IR      Key      Baud      IRFV      Output1
ON         ON       ON       57600     ON        HDBT

InputPort  EdidIndex Connected CEC      IRInput
01         Default_00 No       ON       1
02         Default_00 No       ON       2
03         Default_00 No       ON       OFF
04         Default_00 No       ON       OFF

=====
    
```

コマンド‘INSTA’の応答例

```

=====
                HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
                FW Version: V1.4.0

Power      IR      Key      Baud      IRFV      Output1
ON         ON       ON       57600     ON        HDBT

OutputPort InputPort Connected OSP      Switch  PoC      RS232ctr  CEC
Scaling    IRctr   EnableOutput GuestMode
1          1       Yes      SNK      Manual  ON       OFF       ON
ON         ON       ON       OFF
2          2       No       SNK      Manual  ON       OFF       ON
ON         ON       ON       OFF

OutputPort AudioFrom  Optical  Analog  AnalogVol  AnalogMute
1          HDBT01   ON       ON       100       OFF
2          HDBT02   ON       ON       100       OFF
=====

```

コマンド 'OUTSTA' の応答例

```

=====
                HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
                FW Version: V1.4.0

Power      IR      Key      Baud      IRFV      Output1
ON         ON       ON       57600     ON        HDBT

===== RS232 01
Command On Interval Time: 3s
RS232ONOUT01 Command 1 Display On: Disable
RS232ONOUT01 Command 2 Display Input: Disable
RS232ONOUT01 Command 3 User 1: Disable
RS232ONOUT01 Command 4 User 2: Disable
RS232ONOUT01 Command 5 User 3: Disable
RS232OFFOUT01 Command Off: Disable

===== RS232 02
Command On Interval Time: 3s
=====

```

コマンド 'CTRLSTA' の応答例(一部)

```

=====
                HMXL42ARC-KIT 4x2 HDBT Matrix With ARC
                FW Version: V1.4.0

Power      IR      Key      Baud      IRFV      Output1
ON         ON       ON       57600     ON        HDBT

OutputPort AudioFrom  Optical  Analog  AnalogVol  AnalogMute
1          HDBT01   ON       ON       100       OFF
2          HDBT02   ON       ON       100       OFF
=====

```

コマンド 'AUDSTA' の応答例

```

FW Version: V1.4.0
GUI Version: V1.4.0
CPLD Version: V1.0.0

```

コマンド 'FWVERSION' の応答例

システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックススイッチャーを電源オンする	PON	[SUCCESS] Set System Power ON, Please Wait A Moment...Done	-
マトリックススイッチャーを電源オフする	POFF	[SUCCESS] Set system power OFF	-
マトリックススイッチャーの前面パネルタッチボタン操作を有効に設定する	KEY ON	[SUCCESS] Set KEY ON	-
マトリックススイッチャーの前面パネルタッチボタン操作を無効に設定する※32	KEY OFF	[SUCCESS] Set KEY OFF	-
マトリックススイッチャーの前面パネルの IR 信号受光をオンに設定する	IR ON	[SUCCESS] Set IR ON	-
マトリックススイッチャーの前面パネルの IR 信号受光をオフに設定する	IR OFF	[SUCCESS] Set IR OFF	-
マトリックススイッチャーすべての設定をリセットする	RESET	Sure to RESET System to default setting? Type "Yes" after next prompt to confirm... [SUCCESS]Canceled The Reset Process.	Yes=実行 No=キャンセル

入出力コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
EDID コピーと HDMI-CEC コマンド送信の出力優先順位を HDMI に設定する	OUT xx EH	[SUCCESS]Priority Output for EDID Copy and CEC = HDMI. [SUCCESS]Set CEC control to enabled ON output [xx].	xx=「01: 出力1」
EDID コピーと HDMI-CEC コマンド送信の出力優先順位を HDBaseT に設定する	OUT xx ET	[SUCCESS]Priority Output for EDID Copy and CEC = HDBT. [SUCCESS]Set CEC control to enabled ON output [xx].	
HDBaseT 受信器 xx への PoC 電源供給を有効する	POCOUT xx ON	Set PoC OFF on output [xx].	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力1 02:HDBaseT 出力2」
HDBaseT 受信器 xx への PoC 電源供給を無効する	POCOUT xx OFF	Set PoC OFF off output [xx].	
出力 xx のスイッチングモードを yy(オート/マニュアル)に設定する	OUT xx SWITCH yy	[SUCCESS]Set output [xx] to [yy] switching.	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力1(HDMI 出力を含む) 02:HDBaseT 出力2」 yy=「AUTO:auto - オート MAN:manual - マニュアル」
出力 xx の映像を黒画面にする(音声は引き続き出力されません。)	OUT xx OFF	Set output [xx] OFF.	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力1 02:HDBaseT 出力2」
出力 xx の映像を元に映像に戻す。	OUT xx ON	Set output [xx] ON.	
出力 xx に入力 yy のソースを	OUT xx FR yy	[SUCCESS]Set output xx	xx=「00:すべての出力

※32 リモコン操作は可能です。

割り当てる		connect from input yy. [SUCCESS]Set local output IR [xx] from remote HDBT receiver IR input [yy].	01: HDBaseT 出力1(HDMI 出力を含む) 02:HDBaseT 出力2」 yy=「01:入力 1 02:入力 2 03:入力 3 04:入力 4」
出力 xx の音声に <input type="text" value="yy"/> のソースを割り当てる※33	AUDIO xx FR yy	[SUCCESS]Set audio output [xx] connect from input [yy].	03:入力 3 04:入力 4」
‘IR Follow Video Switching’モードをオフに設定する※34	IRFV OFF	[SUCCESS]IR follow video switching OFF.	-
‘IR Follow Video Switching’モードをオンに設定する※29	IRFV ON	[SUCCESS]IR follow video switching ON.	-
マトリックススイッチャーの IR 信号出力xxを HDBaseT 受信器yyの IR 信号に固定する	MXIR xx FR yy	[SUCCESS]Set local output IR [xx] from remote HDBT receiver IR input [yy].	xx=「01:IR 出力 1 02:IR 出力 2 03:IR 出力 3 04:IR 出力 4」 yy=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力1 02:HDBaseT 出力2」
出力 xx の自動ダウンスケーリング機能をオンに設定する	OUT xx SCALING ON	[SUCCESS]Set Output [xx] Scaling ON.	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力1(HDMI 出力を含む)
出力 xx の自動ダウンスケーリング機能をオフに設定する	OUT xx SCALING OFF	[SUCCESS]Set Output [xx] Scaling OFF.	02:HDBaseT 出力2」
入力 xx の EDID を設定する	EDID xx DF zz	[SUCCESS]Set input [xx] edid with default edid [zz].	xx=「01:入力 1 02:入力 2 03:入力 3 04:入力 4」 zz=「EDID設定は下記の‘入力EDIDフォーマット一覧’を参照してください」
出力 yy の EDID を <input type="text" value="xx"/> の EDID にコピーする	EDID xx CP yy	[SUCCESS]Copy output [yy] edid to input [xx].	yy=「01: HDBaseT 出力1(HDMI 出力を含む) 02:HDBaseT 出力2」 xx=「00:すべての入力 01:入力 1 02:入力 2 03:入力 3 04:入力 4」
カスタム EDID ファイルを本体に読み込ませて保存する	EDID SAVE yy TO zz	[SUCCESS]Save output [xx] edid to user EDID memory [yy].	zz=「22:User EDID 1 23:User EDID 2」 ※上記パラメータのみ入力してください。
現在の出力へのソース割り当てステータスをプリセット pp に保存する	PRESET pp SAVE	[SUCCESS]Save current output connection to preset [pp].	pp=「01:プリセット 1 02:プリセット 2 03:プリセット 3 04:プリセット 4 05:プリセット 5 06:プリセット 6 07:プリセット 7 08:プリセット 8」
プリセット pp の設定を削除する	PRESET pp CLR	[SUCCESS]Delete preset [pp].	
プリセット pp の設定を呼び出す	PRESET pp APPLY	[SUCCESS]Apply preset [pp].	

※33 マトリックススイッチャーの 13 15 17 19 出力端子

※34 ‘IR Follow Video Switching’モードについて、[IR 信号ルーティングの設定](#) を参照してください。

EDID エミュレータプリセット一覧表

zz	対応 EDID	zz	対応 EDID
00	HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 2ch PCM(初期設定値)	01	HDMI 1080p@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
02	HDMI 1080p@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	03	HDMI 1080i@60Hz, Audio 2CH PCM
04	HDMI 1080i@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	05	HDMI 1080i@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
06	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 2CH PCM	07	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
08	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	09	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
10	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	11	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
12	HDMI 4K@60Hz 4:2:0/4K@30Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM	13	HDMI 4K@60Hz 4:2:0/4K@30Hz 4:4:4, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
14	HDMI 4K@60Hz 4:2:0/4K@30Hz 4:4:4, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	15	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
16	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	17	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
18	DVI 1280x1024@60Hz, (音声なし)	19	DVI 1920x1080@60Hz, (音声なし)
20	DVI 1920x1200@60Hz, (音声なし)	21	HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH PCM/6CH PCM
22	User EDID 1(ユーザーEDID 1)	23	User EDID 2(ユーザーEDID 2)

音声コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックススイッチャーのアナログ/光音声出力 xx をミュート mm する	MUTE mm TX xx	[SUCCESS]Set output [xx] analogue audio/optical mute On/Off.	mm=「On:オン Off:オフ」 xx=「00:すべての出力 01:アナログ出力1 02:アナログ出力2 09:光出力1 10:光出力2」
マトリックススイッチャーのアナログ/光音声出力 xx を mm する	AUDOUT xx mm	[SUCCESS]Set output [xx] analogue audio/optical mute on/Off.	xx=「0:音量0 100:音量 100 +:音量を 1 ステップ上げる -:音量を 1 ステップ下げる」 yy=「00:すべてのアナログ音声出力 01:アナログ音声出力1 02:アナログ音声出力2」
マトリックススイッチャーのアナログ音声出力 yy の音量を xx に調整する	VOL xx TX yy	[SUCCESS]Set output [yy] analogue audio volume to [xx].	xx=「0:音量0 100:音量 100 +:音量を 1 ステップ上げる -:音量を 1 ステップ下げる」 yy=「00:すべてのアナログ音声出力 01:アナログ音声出力1 02:アナログ音声出力2」
出力 xx を ARC モード aa に設定する	OUT xx ARC aa	[SUCCESS]Set output [xx] to ARC mode [aa].	xx=「00:すべての出力 01:出力1 02:出力2」 aa=「01:光からの ARC 02:HDMI からの ARC」

CEC コマンド設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
出力 xx と接続する機器への CEC コマンド送信をオンに設定する	OUT xx CEC ENABLE	[SUCCESS] CEC ENABLED ON OUTPUT [xx]	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力 1 (HDMI 出力を含む) 02:HDBaseT 出力 2
出力 xx と接続する機器への CEC 送信をオフに設定する	OUT xx CEC DISABLE	[SUCCESS] CEC DISABLED ON OUTPUT [xx]	yy=[CEC対応ディスプレイ機器の入力ソース名、例:01]
出力 xx と接続する機器の入力ソース yy に切り替える	OUT xx CEC INPUT yy	[SUCCESS] CECOUT [xx] SELECT CHANNEL [yy]	
出力 xx と接続する機器に‘電源オフ’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC POFF	[SUCCESS] CECOUT [xx] POWER OFF	
出力 xx と接続する機器に‘電源オン’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC PON	[SUCCESS] CECOUT [xx] POWER ON	
出力 xx と接続する機器にユーザー定義 1/2 CEC コマンドを出力に送信する	OUT xx CEC USER aa bb cc dd	[SUCCESS] CECUSERCMD < aa bb cc dd >	aa=[01: User-Defined 1(ユーザー定義1 CEC コマンド) 02:User-Defined 2(ユーザー定義2 CEC コマンド)] bb cc dd=[CEC コマンド] ※ 各種機器の対応コマンドについては機器メーカーへお問い合わせください
入力 yy と接続する機器への CEC コマンド送信をオンに設定する	IN yy CEC ENABLE	[SUCCESS] CEC ENABLED ON INPUT [yy]	yy=[01:入力1 02:入力2 03:入力3 04:入力4]
入力 yy と接続する機器への CEC 送信をオフに設定する	IN yy CEC DISABLE	[SUCCESS] CEC DISABLED ON INPUT [yy]	
入力 yy と接続する機器に‘電源オフ’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC POFF	[SUCCESS] CECIN [yy] POWER OFF	
入力 yy と接続する機器に‘電源オン’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC PON	[SUCCESS] CECIN [yy] POWER ON	

シリアル(RS-232)通信設定コマンド

マトリックススイッチャー本体、または HDBaseT 受信器のシリアル(RS-232)通信用端子経由で、シリアル(RS-232)通信コマンドを送信することができます。

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックススイッチャーシリアル(RS232)通信ポーレートを設定する	RS232BAUD z	[SUCCESS] Set RS-232 Baudrate To [z]	z=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600(初期設定値) 7:115200]
シリアル(RS-232)通信ポート[xx]のシリアル(RS-232)通信ポートにコマンド送信後のフィードバック待ち時間[yy]秒に設定する ([z]:コード種類 [a]:ポーレート [b]:コマンド詳細)	OUT xx RS232SEND yy:z:a:b	[SUCCESS]OUT [xx] RS232SEND [yy]:[z]:[a]:[b]	xx=「00:マトリックススイッチャー 01: HDBaseT 受信器1 02:HDBaseT 受信器2」 yy=「00~10:0~10秒」 z=「a:ASCII コード h:HEX コード」 a=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600(初期設定値)

			7:115200]
			b=「シリアル(RS-232)通信コマンドを入力します。」
HDBaseT 受信器[xx]に RS 232 ON と User コマンドの間の送信出力[xx]間隔時間を [tt]秒に設定する	RS232DLYOUTxx:tt	[SUCCESS]Set RS232DLYOUT [xx] to [tt] second(s).	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力 1 (HDMI 出力を含む) 02:HDBaseT 出力 2 tt=「0~180:0~180秒」
[b]コマンドを HDBaseT 受信器[xx]の RS-232 ON の [y]プリセットコマンドとして [z]コード種類、[a]ボーレートで保存する	RS232ONOUTxx y:z: a:b	[SUCCESS]RS232ONOUT [xx] Command [y]:[z]:[a]:[b]	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力 1 02:HDBaseT 出力 2 y=「1:RS232 Display On 2:RS232 Display Input Select 3:RS232 User Command 1 4:RS232 User Command 2 5:RS232 User Command 3」 z=「a:ASCII コード h:HEX コード」 a=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600(初期設定値) 7:115200]
[b]コマンドを HDBaseT 受信器[xx]の RS-232 OFF のプリセットコマンドとして [z]コード種類、[a]ボーレートで保存する	RS232OFFOUTxx z: a:b	[SUCCESS]RS232OFFOUT [xx] Command [z]:[a]:[b]	b=「シリアル(RS-232)通信コマンドを入力します。」
マトリックススイッチャー電源オンする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 コマンドを無効に設定する	RS232ONOUTxx DI SABLE	[SUCCESS]Disable Auto RS232ON On Output [xx].	xx=「00:すべての出力 01: HDBaseT 出力 1 02:HDBaseT 出力 2
マトリックススイッチャー電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 コマンドを無効に設定する	RS232OFFOUTxx DI SABLE	[SUCCESS]Disable Auto RS232OFF On Output [xx].	

ネットワーク設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックススイッチャーの DHCP 機能をオンに設定する※35	NET DHCP ON	[SUCCESS]Set DHCP to ON. Use "NET RB" command or repower device to apply new config!!!	-
マトリックススイッチャーの DHCP 機能をオフに設定する※30※36	NET DHCP OFF	[SUCCESS]Set DHCP to OFF . Use "NET RB" command or repower device to apply new config!!!	-
Telnet 通信をオンに設定する※37	NET TN ON	[SUCCESS]Set telnet port to ON.	-
Telnet 通信をオフに設定する※32	NET TN OFF	[SUCCESS]Set telnet port to OFF.	-
Telnet 通信ポート(8000)をオンに設定する※32	NET TN8000 ON	[SUCCESS]Set telnet port 8000 to ON.	-
Telnet 通信ポート(8000)をオフに設定する※32	NET TN8000 OFF	[SUCCESS]Set telnet port 8000 to OFF.	-
mDNS 機能をオンに設定する※32	NET MDNS ON	[SUCCESS]Set mDNS to ON.	-
mDNS 機能をオフに設定する※32	NET MDNS OFF	[SUCCESS]Set mDNS to OFF	-
マトリックススイッチャーの IP アドレスを設定する※30※38	NET IP xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set IP address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
マトリックススイッチャーのゲートウェイを設定する※30※33	NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
マトリックススイッチャーのサブネットマスクを設定する※30※33	NET SM xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[サブネットマスク] ※入力例:255.255.255.000
ネットワーク設定をリブートし、新しい設定を適用する	NET RB	[SUCCESS]Set Network Reboot and Apply New Config.	-
マトリックススイッチャーの Telnet 通信ポートを設定する※39	NET TN xxxx	[SUCCESS]Set telnet port to [xxxx].	xxxx=[ポート番号] ※初期設定値=0023

※35 新しいネットワーク設定を適用するにはコマンド: NET RB でネットワーク設定をリブートする必要があります。

※36 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(初期設定値である 192.168.0.200 には戻りません)

※37 'mDNS'、'ドメイン名称'、'Telnet 接続ポート'、'Telnet 接続' 設定機能を利用する場合は設置場所のネットワーク管理者に設定値をご確認ください。

※38 IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、本機を 'NET DHCP OFF' に設定してから変更してください。

※39 マトリックススイッチャーを Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、マトリックススイッチャーの Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

映像が表示されない場合の対処方法は？

HDMI ケーブル、HDBaseT 用 LAN ケーブルの接続を確認してください。
 使用しているケーブルが対応している解像度、長さであることを確認してください。
 EDID エミュレート機能の設定を確認し、適切なプリセット EDID を選択してください。

映像や音声が途切れる、乱れる場合の対処方法は？

使用しているケーブルが適切な規格で、適切な長さのものであることを確認してください。
 送信器と受信器の間の距離が、製品仕様に準拠していることを確認してください。

オーディオが出力されない場合の対処方法は？

オーディオデバイス(スピーカー、AV レシーバー)との接続を確認してください。
 オーディオ出力設定を確認し、適切なオーディオフォーマットに設定してください。

ARC 機能が機能しない場合の対処方法は？

ARC 対応のテレビや AV レシーバーを使用していることを確認してください。
 ARC 対応の HDMI ケーブルを使用していることを確認してください。
 テレビや AV レシーバーの設定で ARC 機能が有効になっていることを確認してください。

IR リモコン操作が効かない場合の対処方法は？

IR リモコンの電池が正しく入っているか、寿命でないことを確認してください。
 IR リモコンの赤外線送信部がマトリックススイッチャーの受光部に向いていることを確認してください。
 IR リモコンがマトリックススイッチャーの受信範囲内にあることを確認してください。

ウェブ GUI や RS-232 での制御ができない場合の対処方法は？

RS-232 ケーブルの接続を確認し、必要であれば交換してください。
 使用しているコマンドが正しいかどうか確認してください。
 ボーレートやデータビット、ストップビット等の通信設定が正しいことを確認してください。

オートスイッチ機能が機能しない場合の対処方法は？

マトリックススイッチャーの設定でオートスイッチ機能が有効になっていることを確認してください。
 接続された入力ソースが正しく検出されているか確認してください。

IR 信号や RS-232 信号が双方向に伝送されない場合の対処方法は？

IR 送信/受信ケーブルや RS-232 ケーブルの接続を確認してください。
 送信器と受信器の間の距離が、製品仕様に準拠していることを確認してください。

自動ダウンスケーリング機能が機能しない場合の対処方法は？

各 HDBaseT 受信器に接続されたディスプレイの EDID 情報が正しいことを確認してください。
 マトリックススイッチャーの設定で自動ダウンスケーリング機能が有効になっていることを確認してください。

主な仕様

製品型番	HMXL42ARC-KIT	
送受信器	HMXL42ARC(送信器)	RX70CS(受信器)
HDMI 規格	4K@60Hz (18Gbps) ※ARC 非対応	4K@60Hz (18Gbps) 2ch ARC 対応
HDCP	2.2/1.4	
PoC	対応 ※送信器→受信器への電源供給のみが可能	
最大解像度	4K@60Hz (Y,Pb,Pr 4:4:4) / 4K	
伝送距離	1080p@60Hz の信号で最大 70m 4K@60Hz の信号で最大 40m※40	
IR パススルー	対応(双方向)	
RS-232 通信ポレート	2400 / 4800 / 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200bps (初期設定値:57600bps)	
入力端子	映像※41	HDMI タイプ A x4
	音声	-
出力端子	映像※41 ※44	RJ-45(HDBaseT) x2※42 HDMI タイプ A x1※45
	音声	光デジタル(Toslink)x2 3.5mm ステレオミニジャック x2※46
その他端子	3.5mm モノラルミニジャック x3(IR 受信ケーブル用) 3.5mm ステレオミニジャック x4(IR 送信ケーブル用) 3 ピンターミナルブロック x3(RS-232 通信用) RJ-45 端子(TCP/IP 通信ウェブ GUI 用)※47	RJ-45(HDBaseT) x1※42 HDMI タイプ A x1※43 光デジタル(Toslink)x1 3.5mm ステレオミニジャック x1※46 3.5mm モノラルミニジャック x1(IR 受信ケーブル用) 3.5mm ステレオミニジャック x1(IR 送信ケーブル用) 3 ピンターミナルブロック x1(RS-232 通信用)
ディップスイッチ	EDID 設定用 x1	ARC ON/OFF 切り替え用 x1 動作モード切り替え用 x1
電力入力	DC 24V 5A	PoC または DC12V 1A
消費電力	最大 120W(受信器 x2 台を含む)	
動作温度	0~40℃	
保存温度	-20~60℃	
動作湿度	10% ~90%(結露のなきこと)	
本体寸法(WxHxD)	250 mm x 180 mm x 45 mm(突起物含まれず)	140mm x 84mm x 19mm (突起物含まれず)
本体重量	約 3,000g	約 285g
同梱物	HXML42ARC(送信器)x1 / RX70CS(受信器)x2 / 送信器用 AC アダプター x1 / 送信器用電源ケーブル x1 / 専用 IR リモコン x1 / IR 受信ケーブル x4 / IR 送信ケーブル x3 / IR コントロールケーブル IR-CAB x1 / RS-232 通信用変換ケーブル x1 / 3 ピンターミナルブロック x2 / 送信器専用 EIA ラックマウントブラケット x2(ネジ x8 本付き) / 送信器専用マウントブラケット x2(ネジ x4 本付き) / 送信器用足 x4(ネジ x4 本付き) / 受信器専用マウントブラケット x4(ネジ x8 本付き) / 受信器用足 x8 / 注意事項・保証書 x1	
製品保証	ご購入日より 3 年間	
適合認証	FCC Class B / CE / PSE(AC アダプター) / RoHS	

※40 伝送距離はご利用環境などによって変動します。

※41 マトリックススイッチャーにウェブ GUI から送信される CEC コマンド及び伝送する CEC コマンドは、接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。

※42 本製品は、CAT5e 規格以上のケーブルで動作しますが、Blustream 社では CAT6 ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。

※43 ARC 音声は 2ch のみ対応しています。

※44 入力された信号が 4K 4:2:2 フォーマットの場合、自動ダウンスケーリングは機能しません。

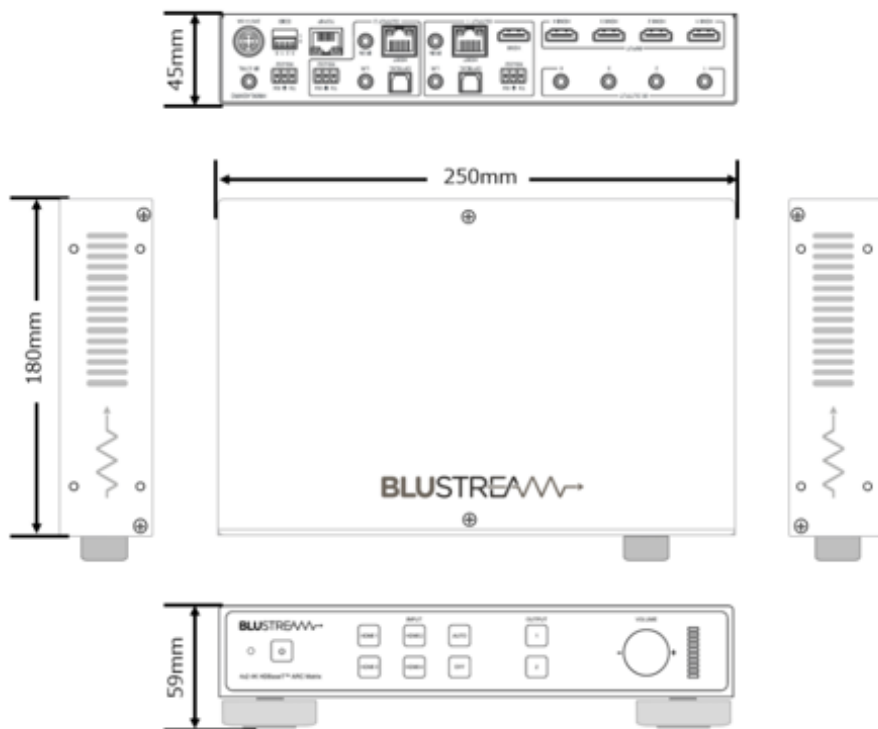
※45 HDBaseT 出力 1 端子と同じ映像・音声を出力します。

※46 2ch のみ対応しています。

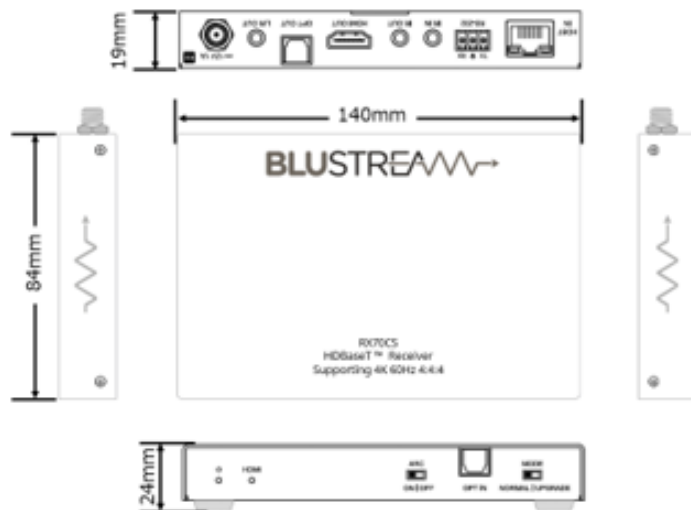
※47 RJ-45 ポートは 100Base-TX 仕様です。

外形寸法

マトリックススイッチャー



HDBaseT 受信器



サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談： www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。